

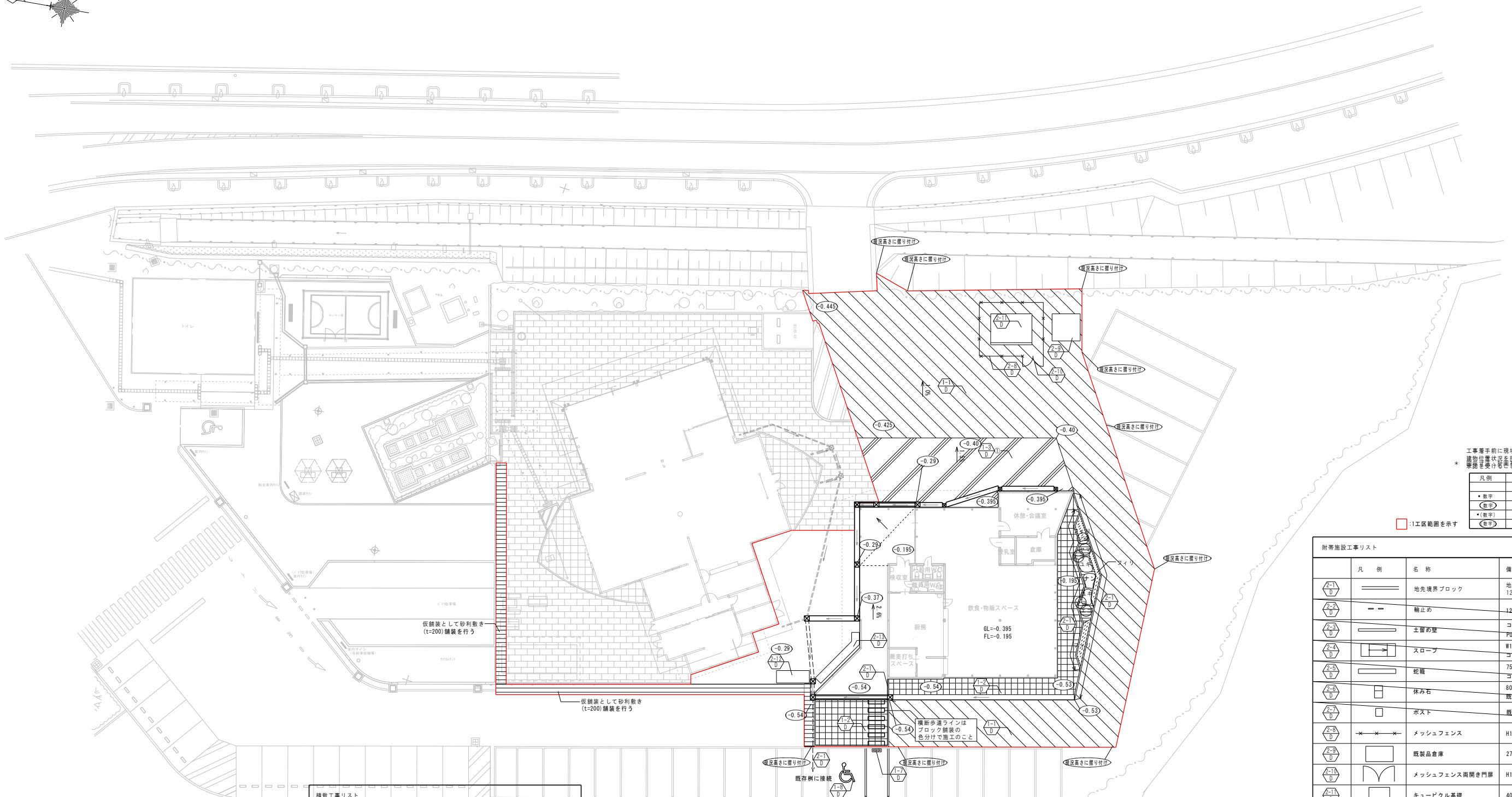
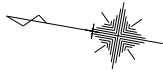
* 図示寸法・計画高さ等は工事概要を示すものであるから、工事着手前に現場測量を行い十分に敷地状況および既存建物位置状況を把握した上で施工図を作成し、監督員の承認を受けること。

凡例	説明
○	設計 G.L.=0.395(m)とする。
●	現況地盤高を示す
○	計画高を示す
△	水路、管底高を示す
◇	計画水面高を示す

凡例	名称	備考
1-A	地先境界ブロック	120×120×600
1-B	軸止め	120×180×600
1-C	土留め壁	コンクリート製既製品積壁 PU-3000共
1-D	スロープ	#1660 高低差H300 コンクリート製
1-E	蛇籠	7500×250×H2000 コンクリート製目隠し壁共
1-F	休み石	800×500×H700 既存外構より移設
1-G	ポスト	既存外構より移設
1-H	メッシュフェンス	H1800
1-I	既製品倉庫	2740×2630×H2030
1-J	メッシュフェンス両開き門扉	H1800
1-K	キューピクル基礎	4000×3000×H500
1-L	ガスボンベ収納庫基礎	3200×1200×H150
1-M	空調室外機基礎(新築棟)	6175×750×H150
1-N	設備基礎	①2300×650×H150 ②1250×650×H150
1-O	空調室外機基礎(既存棟)	2900×1000×H400
1-P	ゴミストッカー	900×518×H780
1-Q	蛇籠②	8300×500×H500
1-R	目隠しフェンス門扉	H2000
1-S	目隠し壁	現場打ちコンクリート製 H800~2000
1-T	施設名称サイン	SUS切り文字 #2200×H250 12文字
1-U	既製品ベンチ	御影石ベンチ #1200×D400×H380 1177# EK-13070 同等品以上

凡例	名称	備考
1-A	密粒度アスファルト舗装	As:t=50 RC-40:t=150
1-B	平板ブロック舗装	平板7' D9t:t=80 園化目地砂:t=20 RC-40:t=150
1-C	①コンクリート舗装(車道用) ②コンクリート舗装(歩道用)	①Co:t=150 RC-40:t=150(溶接金網共) ②Co:t=100 RC-40:t=100(溶接金網共)
1-D	木チップ舗装	木チップ:t=50 RC-40:t=100
1-E	①人工芝(形状記憶仕様) ②人工芝(一般歩行者仕様)	人工芝:t=30 As:t=50 RC-40:t=150(①、②共)
1-F	白線引き	溶融式 駐車区画: W150
1-G	点字ブロック	300×300×180
1-H	身障者マーク	溶融式 W150

凡例	名称	備考
張芝	張芝(高麗芝)	ベタ張り(100%張り)
砂利敷き	砂利敷き	防草シート、砂利敷きt40
フィリ	フィリヤブラン	10.5P 3坪立(35Pot/m)
ソヨ	ソヨゴ	常緑 H2.5 C - W0.7 2脚高層型支柱添木付き
エゴ	エゴノキ	落葉 H2.5 C0.10 W0.6 2脚高層型支柱添木付き
ヤマ	ヤマボウシ	落葉 H3.0 C0.15 W1.5 2脚高層型支柱添木付き
ベニ	ベニカナムチ	常緑 H1.8 C - W0.5 生垣支柱 植付間隔50cm
ユキ	ユキヤナギ	H0.8 C - W - 3本立(4株/m)
ナン	セイヨウイワナンテン(レインボウ)	H0.3 C - W0.2(9株/m)



工事着手前に現場測量を行い十分に現地状況および既存建物の位置状況把握の上で施工図を作成し、重要箇所の掘削基準を付記し示す。

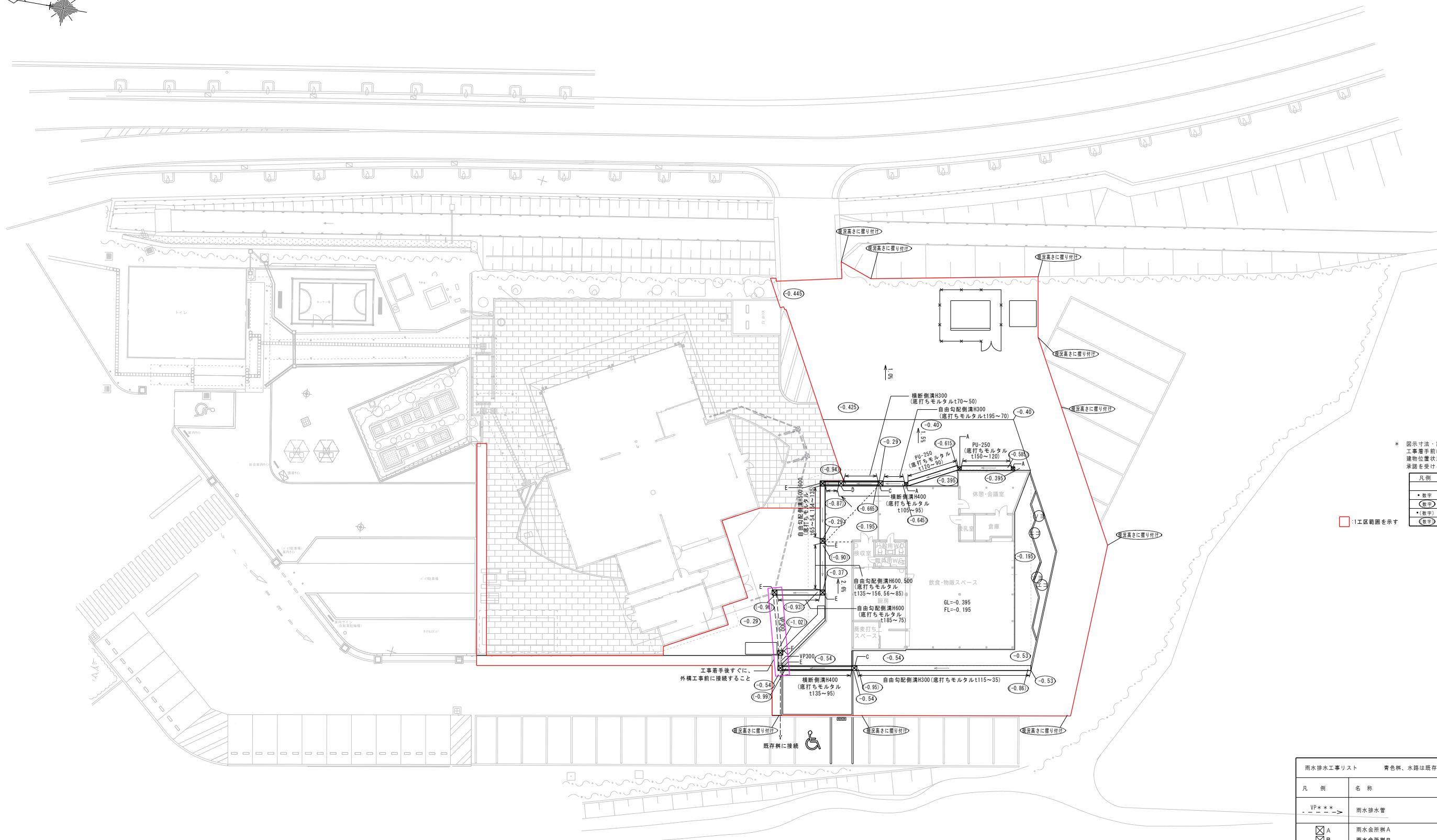
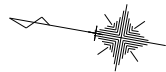
凡例	説明
設計GL	設計GL=-0.395(m)とする。
数字	現況地盤高を示す
(数字)	計画高を示す
(数字)	水階、管底高を示す
(数字)	計画水階高を示す

■:1工区範囲を示す

凡例	名称	備考
(1-1) D	密粒度アスファルト舗装	As: t=50 RC-40: t=150
(1-2) D	平板ブロック舗装	平板ブロック: t=80 園化目地砂: t=20 RC-40: t=150
(1-3) D	①コンクリート舗装(車道用) ②コンクリート舗装(歩道用)	①Co: t=150 RC-40: t=150(溶接金網共) ②Co: t=100 RC-40: t=100(溶接金網共)
(1-4) D	木チップ舗装	木チップ: t=50 RC-40: t=100
(1-5) D	①人工芝(形状記憶仕様) ②人工芝(一般歩行者仕様)	人工芝: t=30 As: t=50 RC-40: t=150(①, ②共)
(1-6) D	白線引き	溶融式 駐車区画: W150
(1-7) D	誘導停止	点字ブロック 300×300×t80
(1-8) D	身障者マーク	溶融式 W150

凡例	名称	備考
強芝	強芝(高麗芝)	ベタ張り (100%張り)
	砂利敷き	防草シート、砂利敷きt40
フィリ	フィリヤブラン	10.5P 3芽立 (35Pot/m ²)
ソヨ	ソヨゴ	常緑 H2.5 C - W0.7 2脚角型支柱添木付き
エゴ	エゴノキ	落葉 H2.5 C0.10 W0.6 2脚角型支柱添木付き
ヤマ	ヤマボウシ	落葉 H3.0 C0.15 W1.5 2脚角型支柱添木付き
ベニ	ベニカナメモチ	常緑 H1.8 C - W0.5 生垣支柱 補付間隔50cm
ユキ	ユキヤナギ	H0.8 C - W - 3本立 (4株/m ²)
ナン	セイヨウイワナンテン (レインボーク)	H0.3 C - W0.2 (9株/m ²)

凡例	名称	備考
(1-1) D	地先境界ブロック	地先境界ブロック 120×120×600
(1-2) D	輪止め	120×180×600
(1-3) D	土留め壁	コンクリート製既製品積壁 PU-3006共
(1-4) D	スロープ	#1660 高低差H300 コブプレート製
(1-5) D	蛇籠	7500×250×H2000 コンクリート製目隠し壁共
(1-6) D	休み石	800×500×H700 既存外構より移設
(1-7) D	ポスト	既存外構より移設
(1-8) D	メッシュフェンス	H1800
(1-9) D	既製品倉庫	2740×2630×H2030
(1-10) D	メッシュフェンス両開き門扉	H1800
(1-11) D	キューピクル基礎	4000×3000×H500
(1-12) D	ガスボンベ収納庫基礎	3200×1200×H150
(1-13) D	空調室外機基礎(新築棟)	6175×750×H150
(1-14) D	設備基礎	①2300×650×H150 ②1250×650×H150
(1-15) D	空調室外機基礎(既存棟)	2950×1000×H400
(1-16) D	ゴミスツッカー	900×518×H780
(1-17) D	蛇籠	8300×500×H500
(1-18) D	目隠しフェンス門扉	H2000
(1-19) D	目隠し壁	現場打ちコンクリート製 R800×2000
(1-20) D	施設名称サイン	SUS切り文字 H2200×H250-12文字
(1-21) D	既製品ベンチ	削形石ベンチ H1200×D400×H380 317×E173070 耐重荷以上



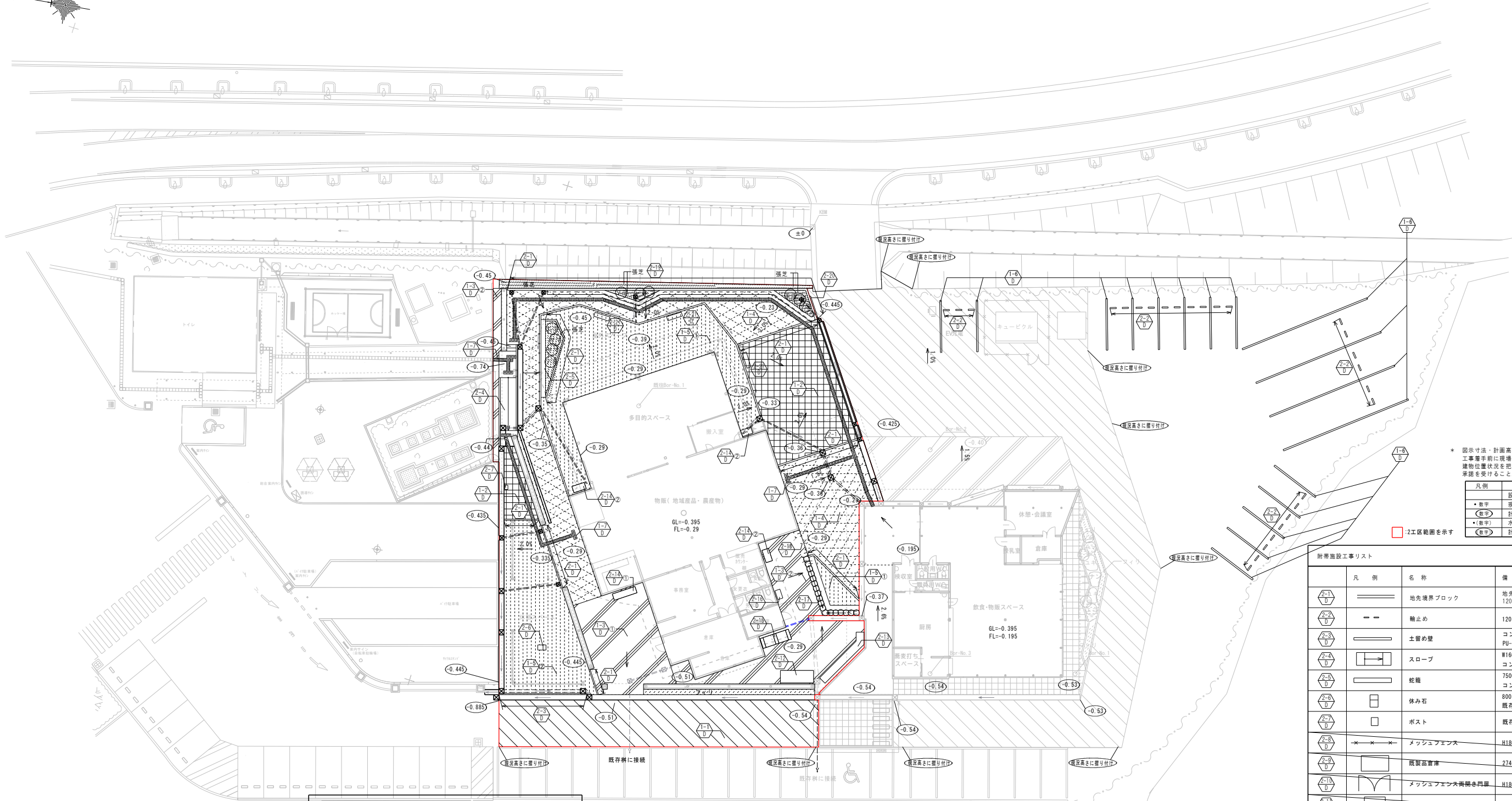
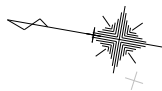
* 図示寸法・計画高さ等は工事概要を示すものであるから、工事着手前に現場測量を行い十分に敷地状況および既存建物位置状況を把握した上で施工図を作成し、監督員の承認を受けること。

凡例	説明
● (数字)	設計GL=-0.395(m)とする。
○ (数字)	現況地盤高を示す
○ (数字)	計画高を示す
* (数字)	水路、管底高を示す
○ (数字)	計画水路底を示す

□ I区範囲を示す

凡例	名称	備考
VP***	雨水排水管	VPφ100, 125, 150, 250, 300 建物室種から会所への接続配管はVPφ100 勾配は1%以上確保すること
⊠ A	雨水会所併A	二次製品 240×240 (コンクリート蓋付)
⊠ B	雨水会所併B	二次製品 300×300 (コンクリート蓋付)
⊠ C	雨水会所併C	二次製品 360×360 (コンクリート蓋付)
⊠ D	雨水会所併D	300×300×600
⊠ E	雨水会所併E	300×300×800
⊠ F	雨水会所併F	300×300×1000
→	U-150	1種(歩道用) グレーディング蓋
→	PU-250	3種(車道用) グレーディング蓋
→	横断側溝	300×300, 300×400
→	自由勾配側溝	300×300, 300×400, 300×500, 300×600
→	カンタン側溝	スリット側溝

工事名称	道の駅「瑞穂の里・さらびき」再整備工事		
図面名称	1期工事外構新設配置図(2)(雨水排水工事)	S:1:200 (A3版 S:1:400)	
設計者	キタイ設計(株)	一級建築士 第319755号 小川龍二	
図面番号	G-04		



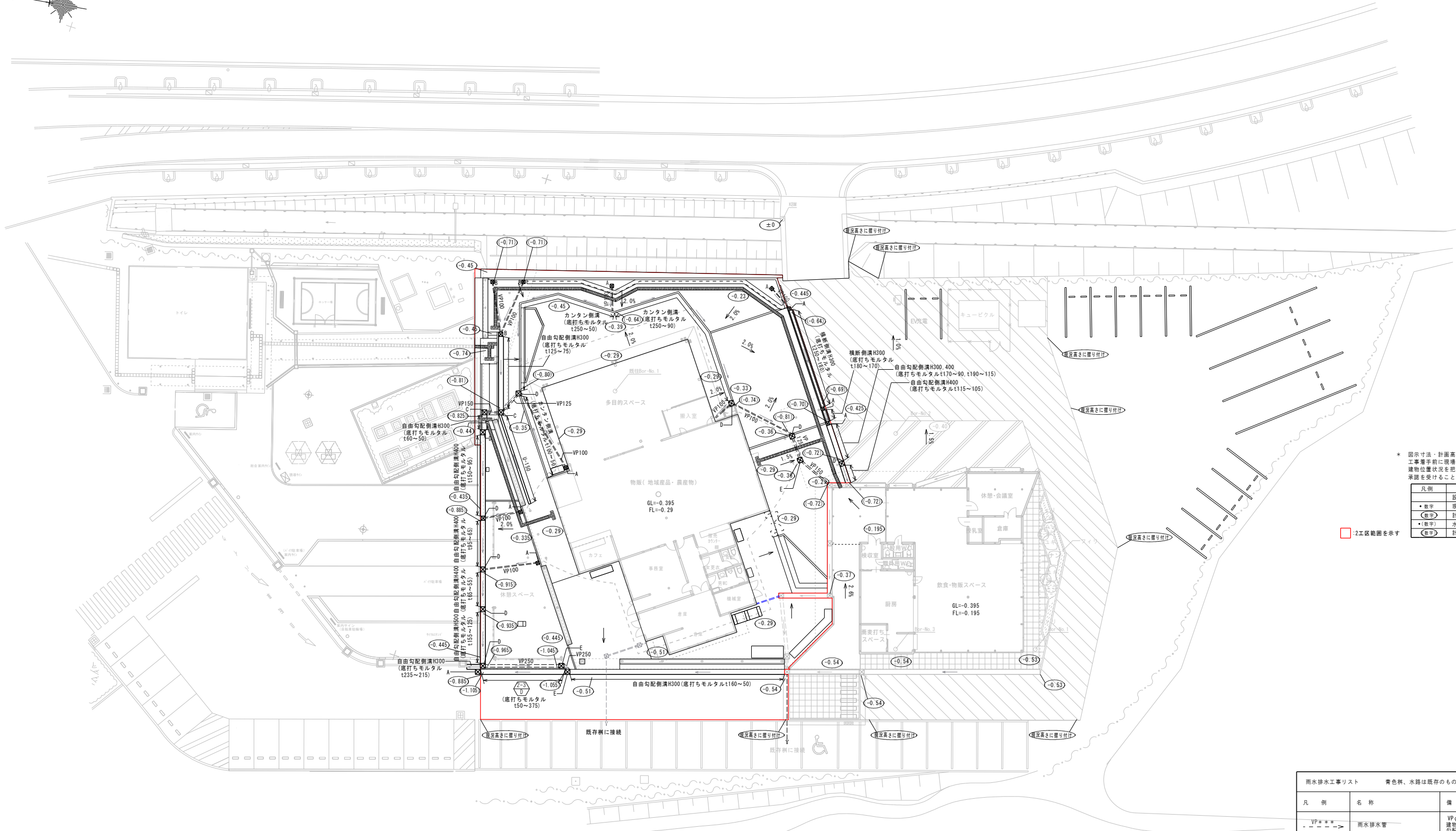
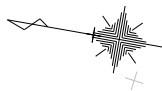
* 図示寸法・計画高さ等は工事概要を示すものであるから、工事着手前に現場測量を行い十分に敷地状況および既存建物位置状況を把握した上で施工図を作成し、監督員の承認を受けること。

凡例	説明
○	設計 G.L.=0.395(m)とする。
●	現況地盤高を示す
○	計画高を示す
△	水径、管底高を示す
□	計画水階底を示す

凡例	名称	備考
1-D	地先境界ブロック	120×180×600
2-D	軸止め	120×180×600
3-D	土留め壁	コンクリート製既製品編組 PU-3000共
4-D	スロープ	W1660 高低差H300 コンクリート製
5-D	蛇籠	7500×250×H2000 コンクリート製目隠し壁共
6-D	休み石	800×500×H700 既存外構より移設
7-D	ポスト	既存外構より移設
8-D	メッシュフェンス	H1800
9-D	既設高層床	2740×2630×H2030
10-D	メッシュフェンス外周開き門扉	H1800
11-D	キュービクル基礎	4000×3000×H500
12-D	ガスボンベ収納庫基礎	3200×1200×H150
13-D	空調室外機基礎(新築棟)	6175×750×H150
14-D	設備基礎	①2300×650×H150 ②1250×650×H150
15-D	空調室外機基礎(既存棟)	2900×1000×H400
16-D	ゴミストッカー	900×518×H780
17-D	蛇籠②	8300×500×H500
18-D	目隠しフェンス門扉	H2000
19-D	目隠し壁	現場打ちコンクリート製 H800~2000
20-D	施設名称サイン	SUS切り文字 W2200×H250 12文字
21-D	既製品ベンチ	御影石ベンチ W1200×D400×H380 217t E1-13070 同等品以上

凡例	名称	備考
1-D	密粒度アスファルト舗装	As:t=50 RC-40:t=150
2-D	平板ブロック舗装	平板700:t=80 園化目地砂:t=20 RC-40:t=150
3-D	①コンクリート舗装(車道用) ②コンクリート舗装(歩道用)	①Co:t=150 RC-40:t=150(溶接金網共) ②Co:t=100 RC-40:t=100(溶接金網共)
4-D	木チップ舗装	木チップ:t=50 RC-40:t=100
5-D	①人工芝(形状記憶仕様) ②人工芝(一般歩行者仕様)	人工芝:t=30 As:t=50 RC-40:t=150(①、②共)
6-D	白線引き	溶融式 駐車区画:W150
7-D	誘導停止	点字ブロック 300×300×t80
8-D	身障者マーク	溶融式 W150

凡例	名称	備考
張芝	張芝(高麗芝)	ベタ張り(100%張り)
砂利敷き	砂利敷き	防草シート、砂利敷きt40
フィリ	フィリヤブラン	10.5P 3芽立(35Pot/m ²)
ソヨ	ソヨゴ	常緑 H2.5 C - W0.7 2脚高層型支柱添木付き
エゴ	エゴノキ	落葉 H2.5 C0.10 W0.6 2脚高層型支柱添木付き
ヤマ	ヤマボウシ	落葉 H3.0 C0.15 W1.5 2脚高層型支柱添木付き
ベニ	ベニカナメモチ	常緑 H1.8 C - W0.5 生垣支柱 種付間隔50cm
ユキ	ユキヤナギ	H0.8 C - W - 3本立(4株/m ²)
ナン	セイウサイロカンテン (レインボウ)	H0.3 C - W0.2 (9株/m ²)



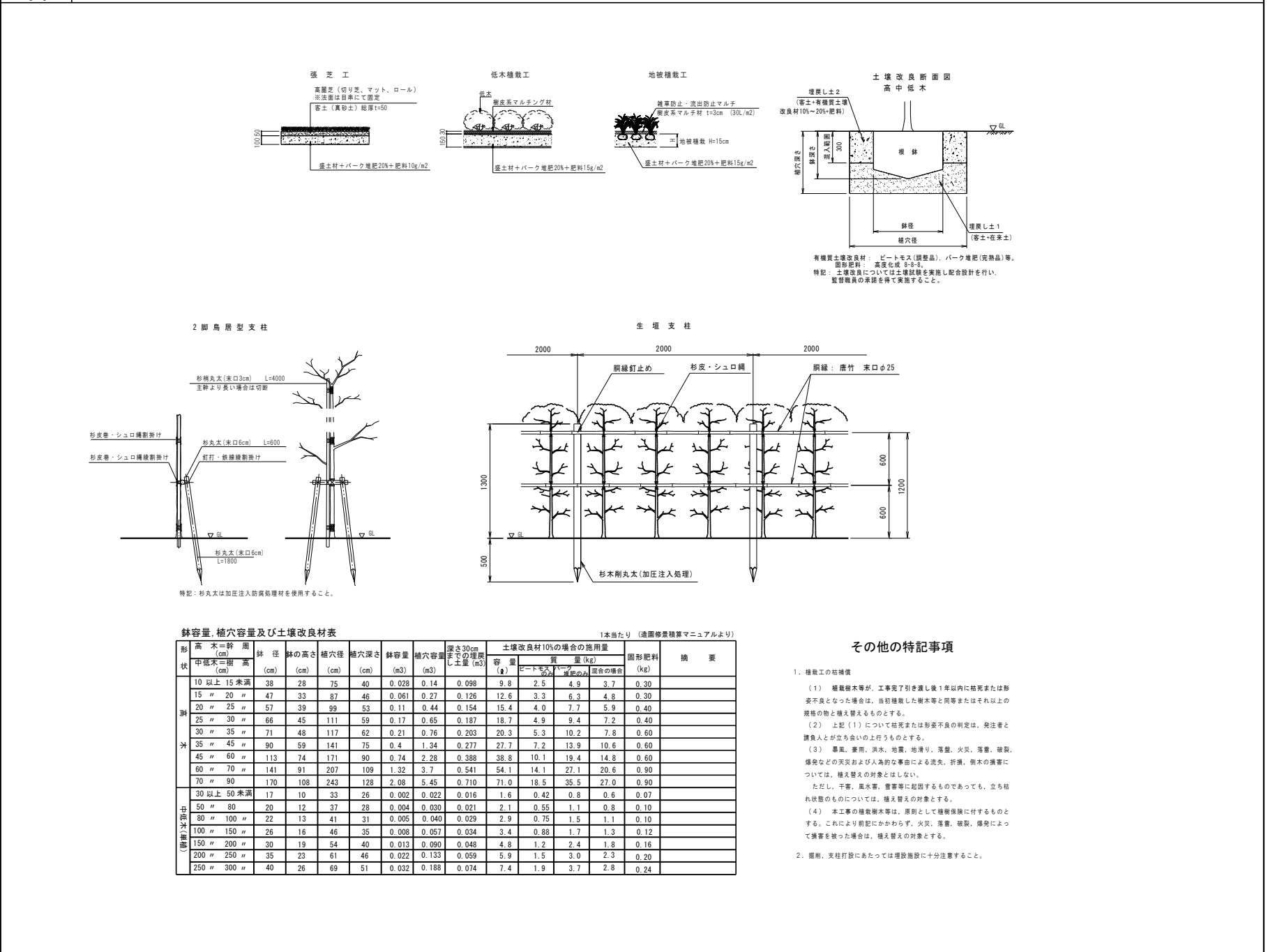
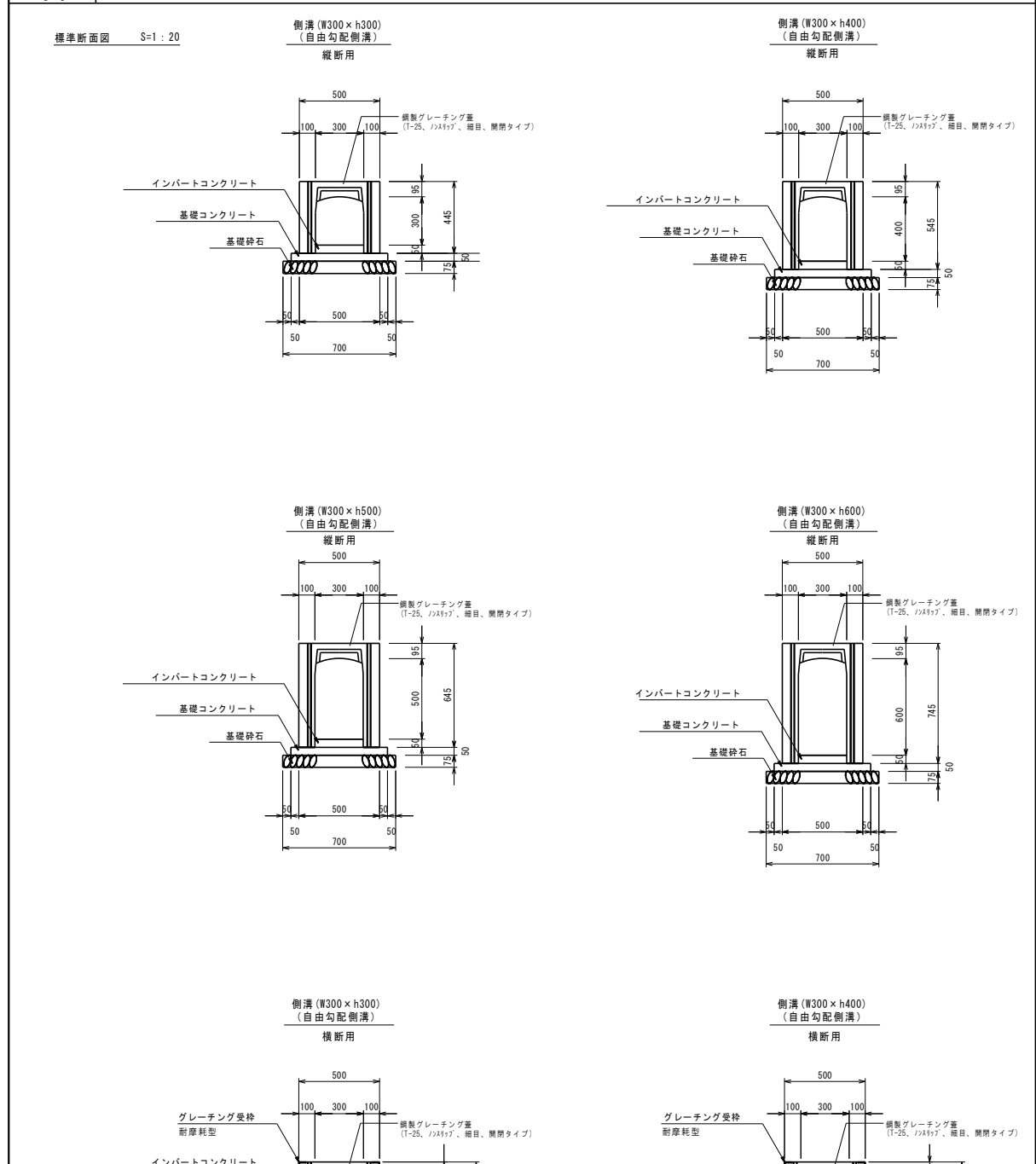
* 図示寸法・計画高さ等は工事概要を示すものであるから、工事着手前に現場測量を行い十分に敷地状況および既存建物位置状況を把握した上で施工図を作成し、監督員の承認を受けること。

凡例	説明
●	設計 G L = -0.395 (m) とする。
○	現況地盤高を示す
○	計画高を示す
○	水路、管底高を示す
○	計画水路底を示す

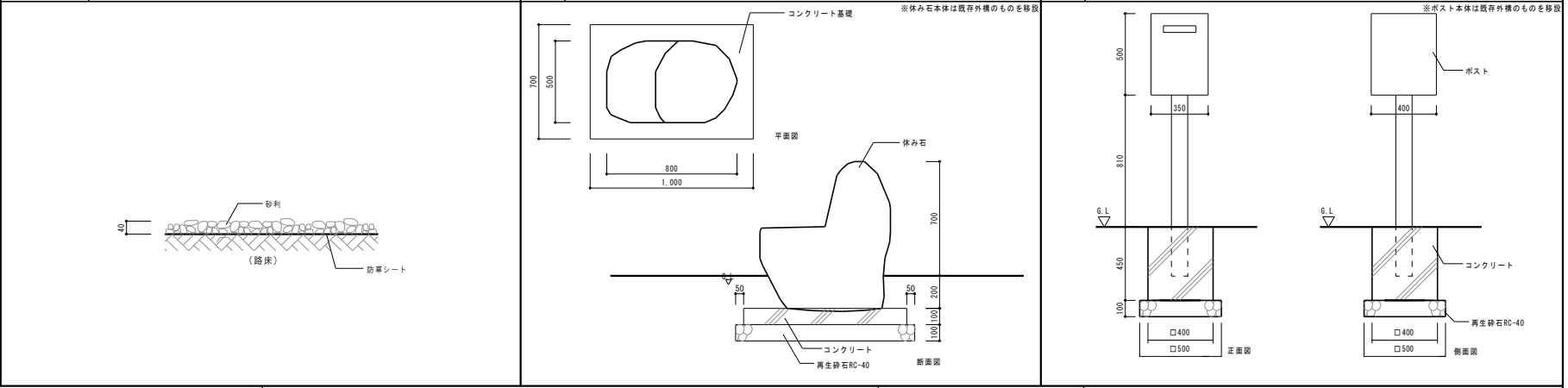
□ : 2工区範囲を示す

凡例	名称	備考
---VP***---	雨水排水管	VPφ100, 125, 150, 250, 300 建物室種から会所への接続配管はVPφ100 勾配は1%以上確保すること
⊗ A	雨水会所併 A	二次製品 240×240 (コンクリート蓋付)
⊗ B	雨水会所併 B	二次製品 300×300 (コンクリート蓋付)
⊗ C	雨水会所併 C	二次製品 360×360 (コンクリート蓋付)
⊗ D	雨水会所併 D	300×300×600
⊗ E	雨水会所併 E	300×300×800
⊗ F	雨水会所併 F	300×300×1000
→	U-150	1種 (歩道用) グレーチング蓋
→	PU-250	3種 (車道用) グレーチング蓋
→	横断側溝	300×300, 300×400
→	自由勾配側溝	300×300, 300×400, 300×500, 300×600
→	カントナ側溝	スリット側溝

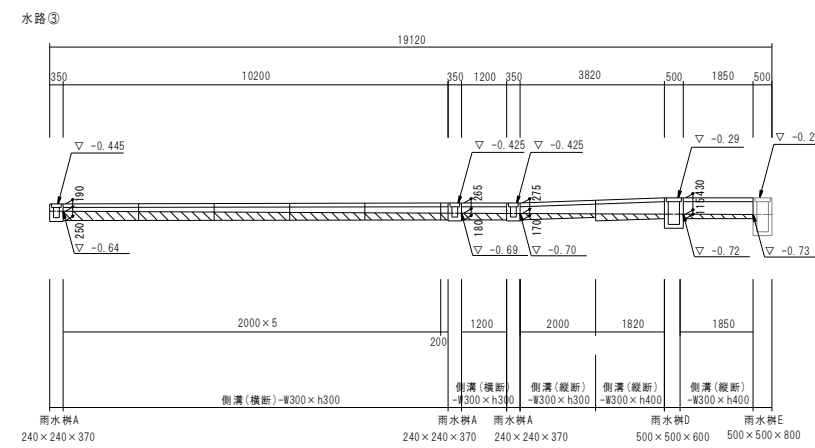
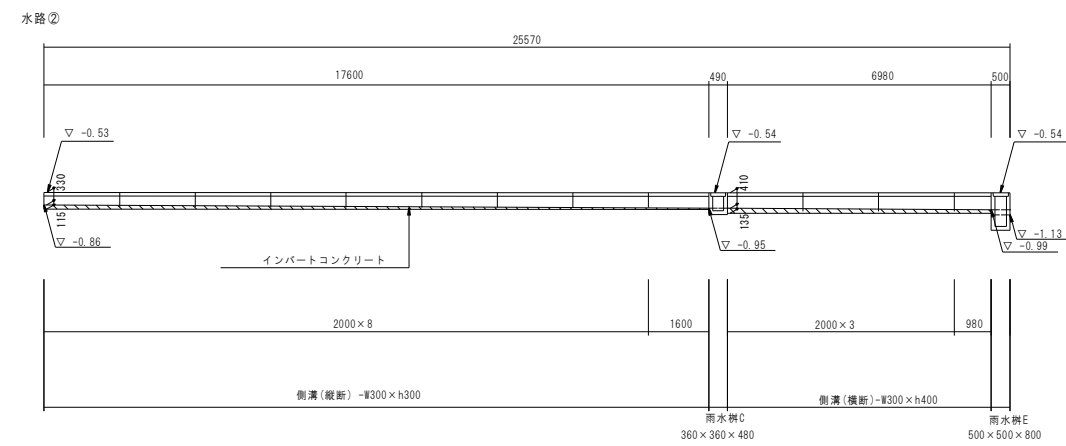
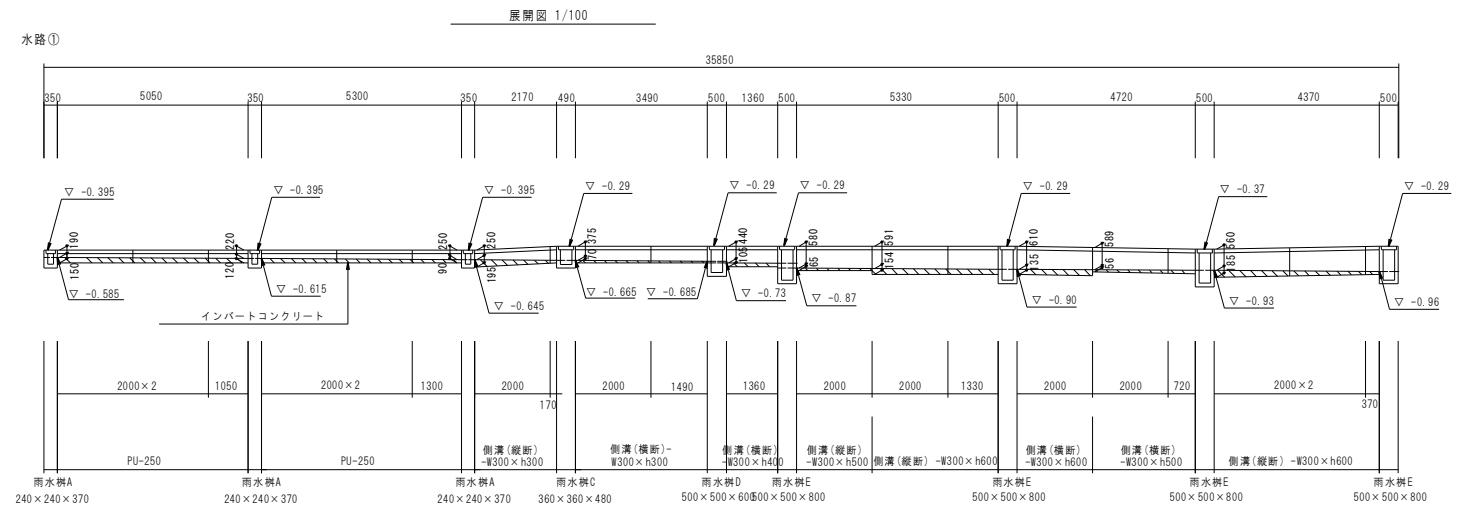
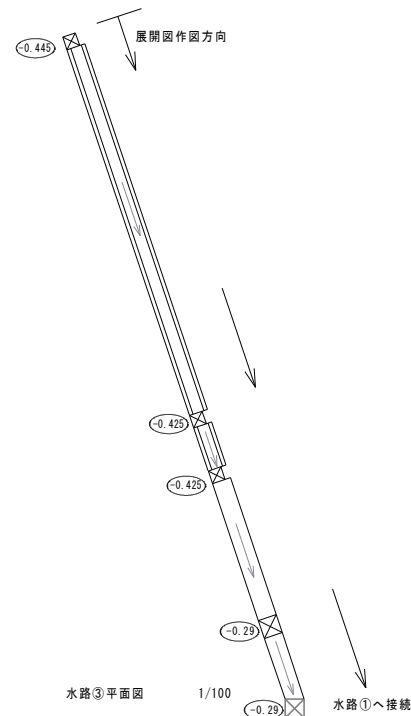
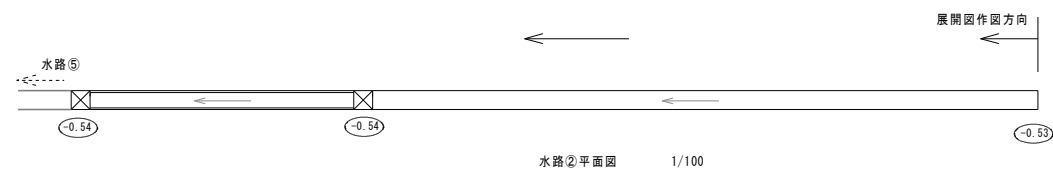
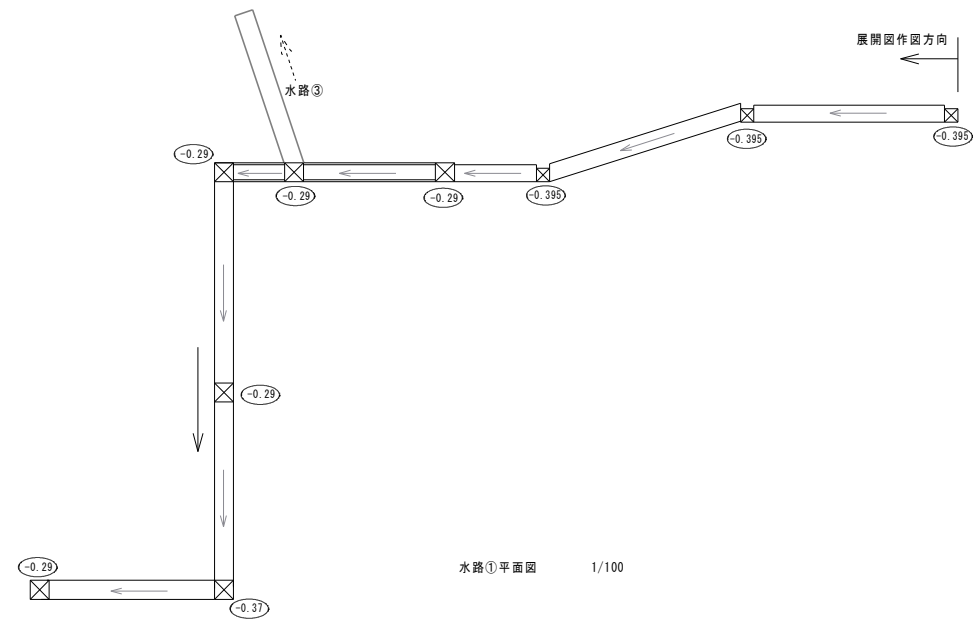
工事名称	道の駅「瑞穂の里・さらびき」再整備工事		
図面名称	2期工事外構新設配置図(2)(雨水排水工事)	S=1:200 (A3版 S=1:400)	
設計者	キタイ設計(株)	一級建築士 第319755号 小川龍二	G-06



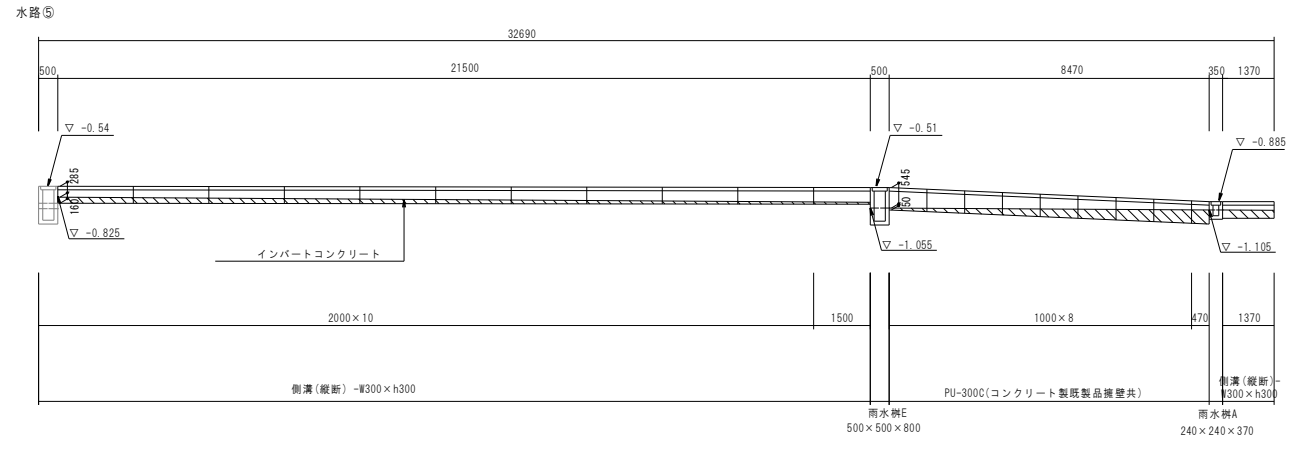
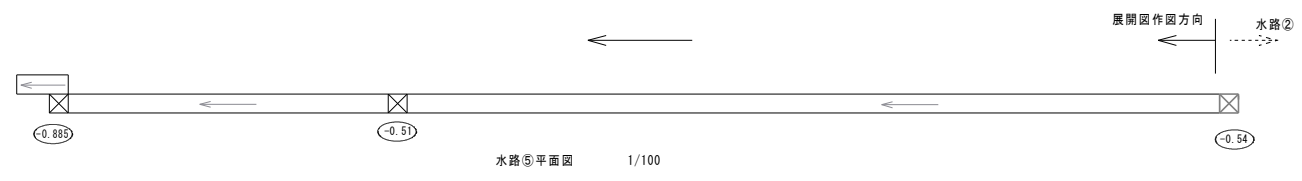
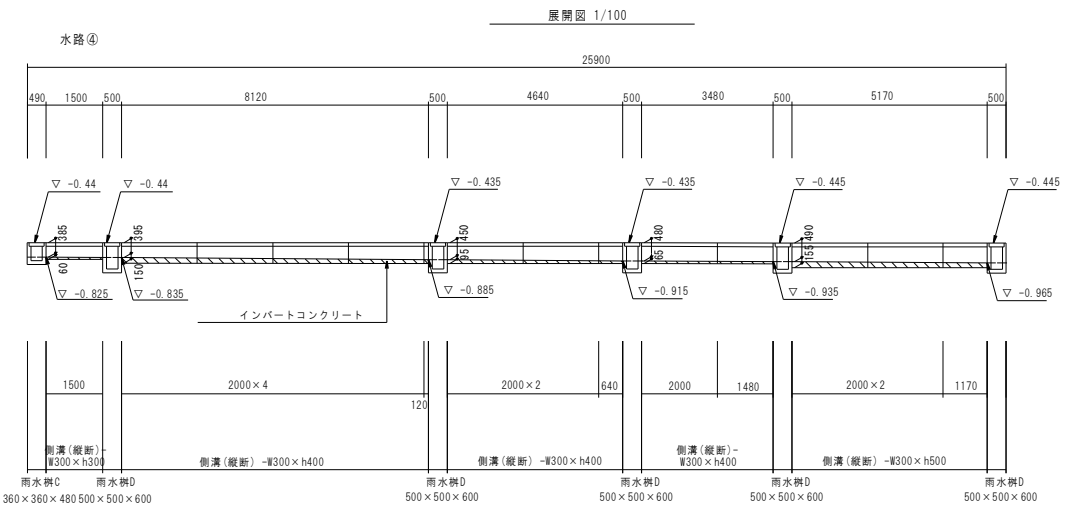
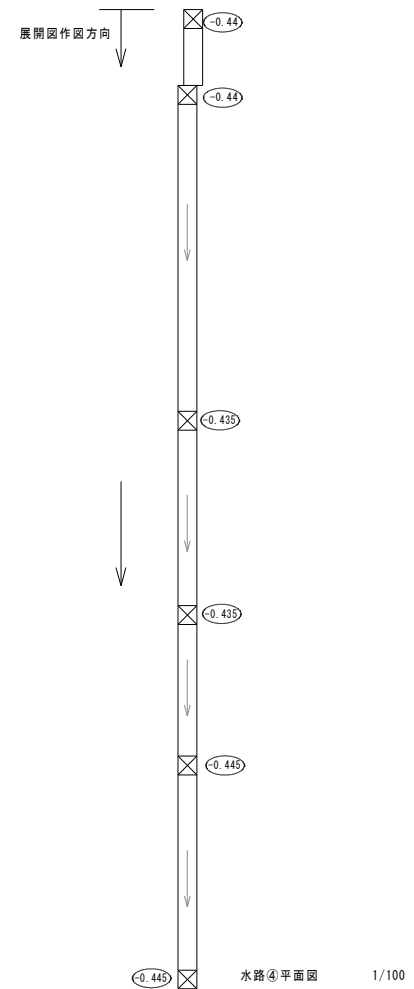
植栽工	砂利敷き	S=1:10	2/8 D	休み石	S=1:20	2/7 D	ポスト	S=1:20
備考	仕上げ高さや造成高さの調整を行うこと							
参考								



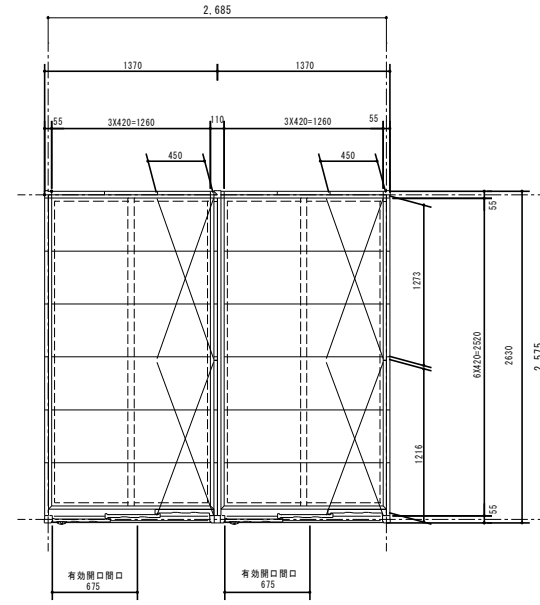
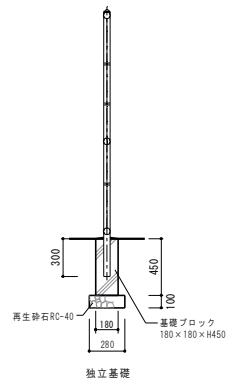
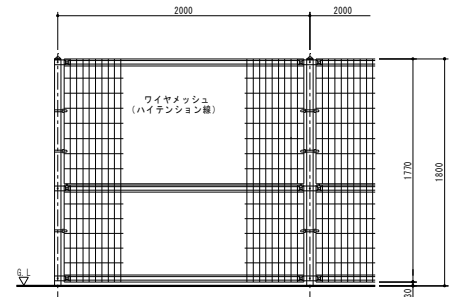
基礎コンクリートおよびコンクリート舗装のコンクリート強度は21N/mm ² とする。(有筋の場合)	工事名称	道の駅「瑞穂の里・さらびき」再整備工事
基礎コンクリートおよび捨てコンクリートのコンクリート強度は18N/mm ² とする。(無筋の場合)	図面名称	外構詳細図(2)
舗装の路床設計CBRは3%以上を標準とする。		S: 図示



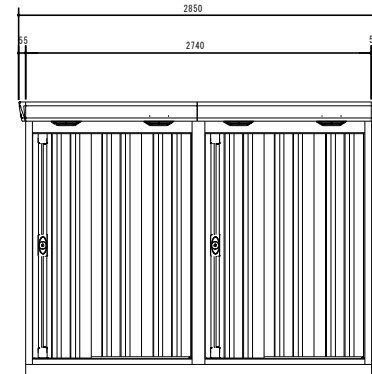
基礎コンクリートおよびコンクリート舗装のコンクリート強度は21N/mm ² とする。(有筋の場合)				工事名称	道の駅「瑞穂の里・さらびき」再整備工事
基礎コンクリートのコンクリート強度は18N/mm ² とする。(無筋の場合)				図面名称	外構詳細図(3)
舗装の路床設計CBRは3%以上を標準とする。					S: 図示
				キタイ設計(株)	G-09
				一級建築士 第319755号 小川龍二	



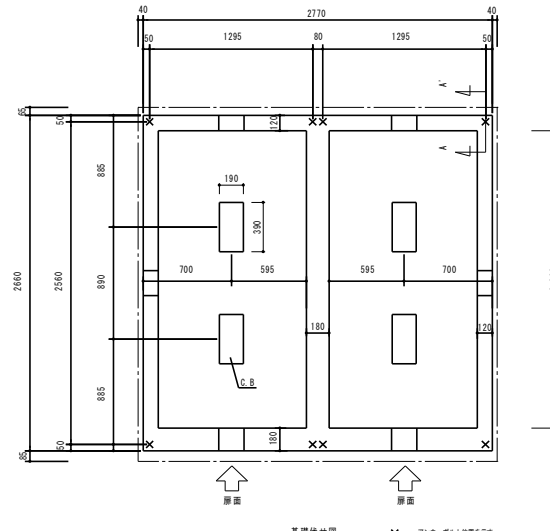
基礎コンクリートおよびコンクリート舗装のコンクリート強度は21N/mm ² とする。(有筋の場合)				工事名称	道の駅「瑞穂の里・さらびき」再整備工事
基礎コンクリートのコンクリート強度は18N/mm ² とする。(無筋の場合)				図面名称	外構詳細図(4) S: 図示
舗装の路床設計CBRは3%以上を標準とする。				設計者	キタイ設計(株) 一級建築士 第319755号 小川龍二
				図面番号	G-10



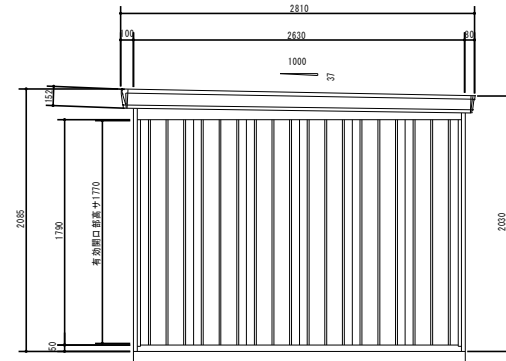
平面図



正面図



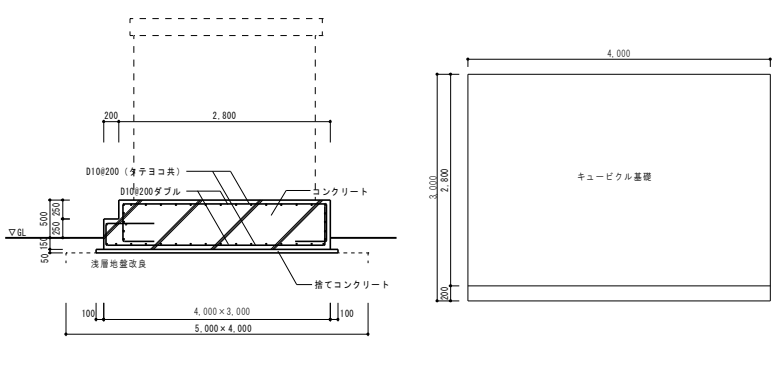
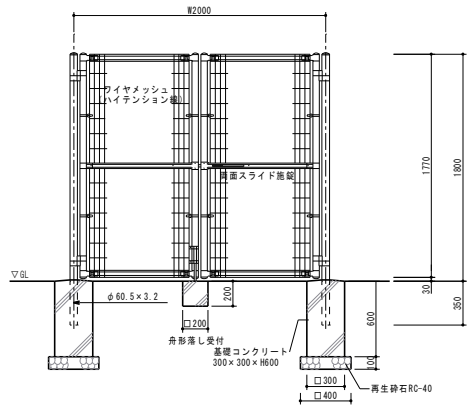
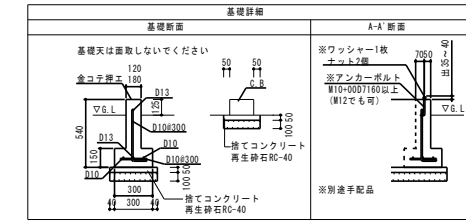
基礎位置図



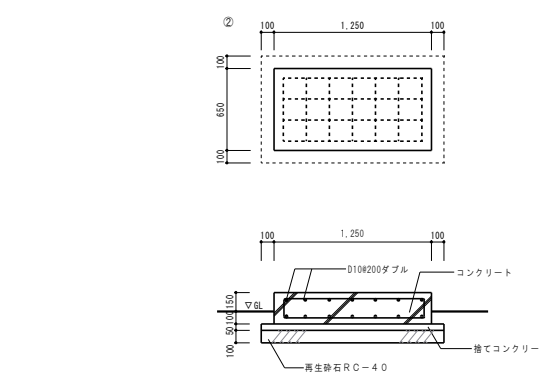
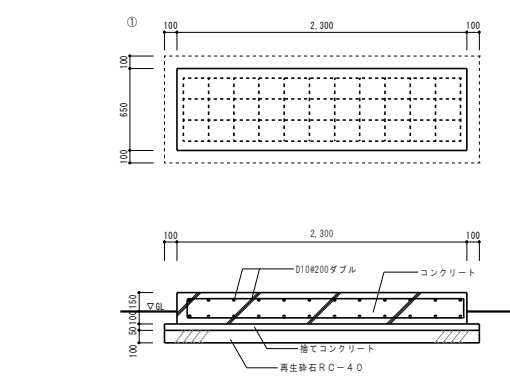
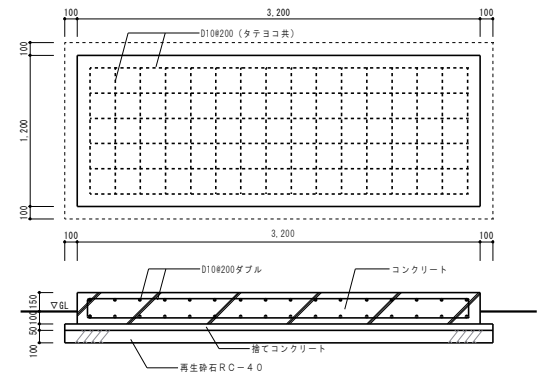
側面図

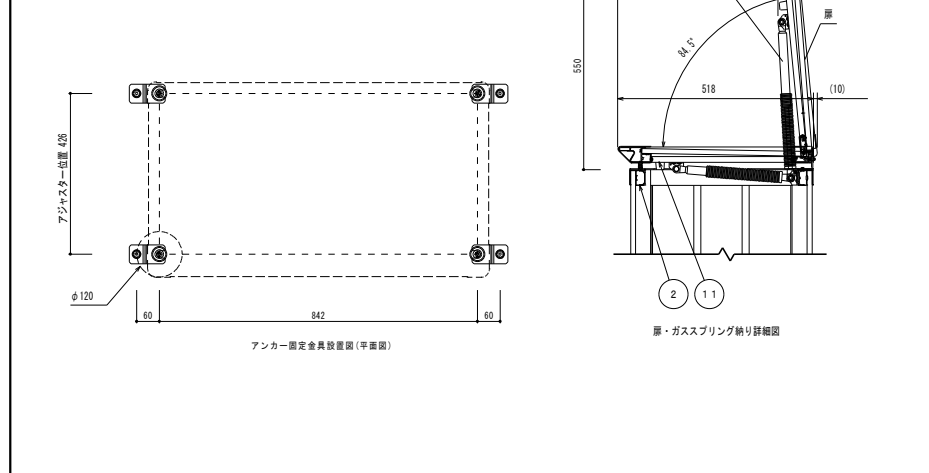
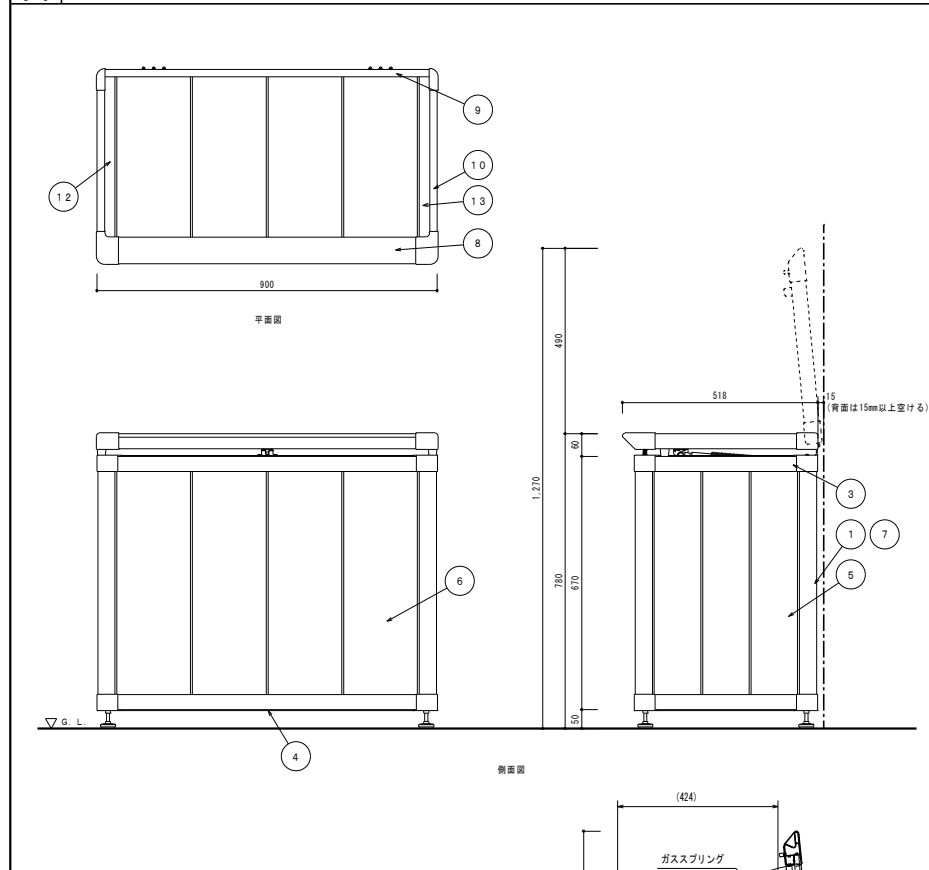
品番	部品名	材料(材質)	板厚(mm)	
1	土台取付板	SGMH400 K27	2.3	
2	土台	SGC400 F12	1.2	
3	根太	SGCC F12	1.2	
4	柱	SGC400 F12	1.2	
5	床パネル	SGCC F12	1.0	
6	鴨居	SZAC400 Y10	1.0	
7	桁後	SZAC400 Y10	1.0	
8	妻板左右	SZAC400 Y10	0.7	
9	梁中(奥行2630mm)	SGC400 F12	1.0	
		SGH400 F12	1.6	
10	鼻隠シ前後	SZACC Y10	0.7	
11	屋根パネル	SZAC400 Y10	0.5	
12	母屋中(間口1370mm)	一般型	1.0	
		多層型		1.2
		豪雪型		
13	壁パネル	SGC400 F12	0.6	
14	正面パネル	SGC400 F12	0.7	
15	扉	SGCC F12	0.8	
16	棚板	SECC E8	0.6	
17	アンカープレート	SGHC F12	2.3	

SGMH400: 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (JIS G 3320)
 SGC400, SGCC, SGH400, SGHC: 溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)
 SZAC400, SZACC: 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)
 SECC: 電気亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3313)



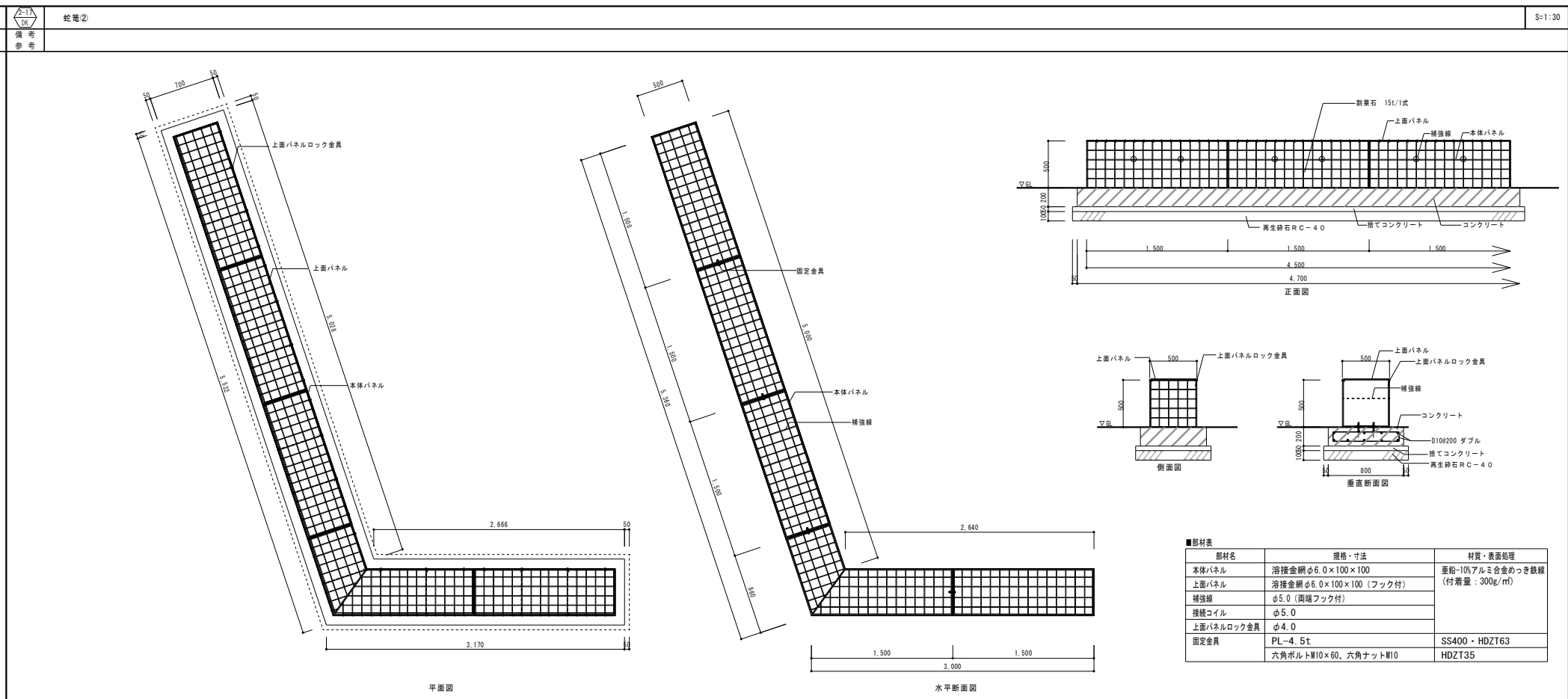
液層地盤改良仕様
 ・基礎ベース下は、GL-500まで液層地盤改良を行う
 ・セメント系固化材 60kg/m²以上
 ・表層地耐力 30kN/m² (基礎下にて)
 ・セメント系固化材は、六価クロム溶出量低減型固化材とする
 ・施工に先立ち係員の指示により現地土砂を採取し配合試験を行うこと
 ・一軸圧縮試験を行い、混合土採取は1ヶ所当たり3種の供試体を採取する
 ・強度確認は、7日の一軸圧縮試験による
 (28日強度が得られない場合は、28日以内に再度試験を行う)
 ・供試体の大きさはφ50×100mmとし、高さはその2倍とする



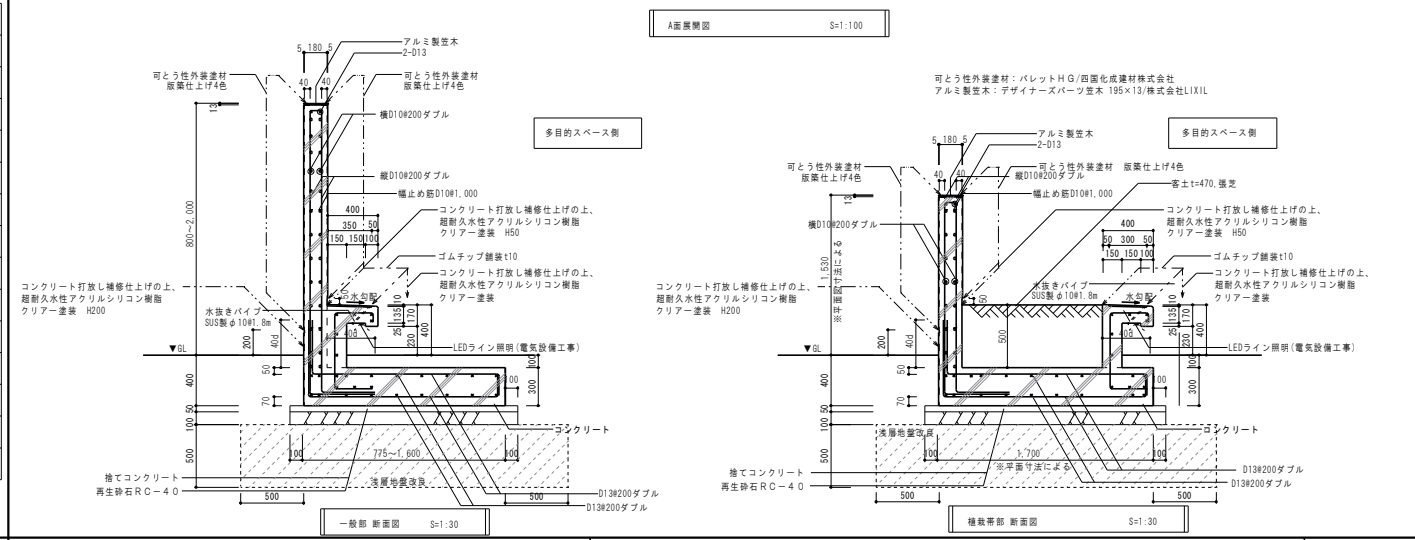
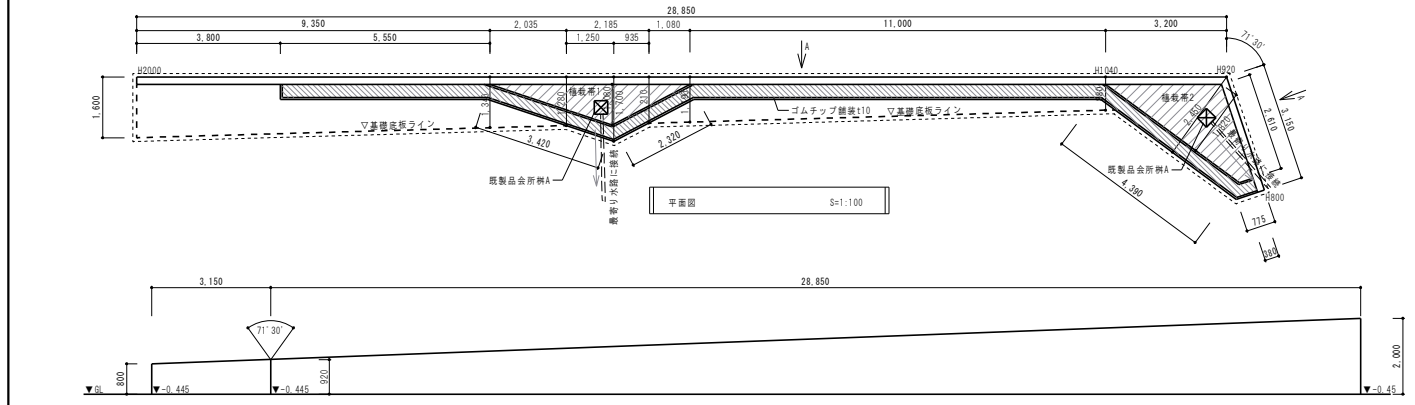


ねじ類	ステンレス (SUS)
組立金具類	冷間圧延鋼板 (SPCC) 電気亜鉛めっき SUS
⑬ 化粧パネル端部R	アルミ押出材 陽酸化・塗装種合皮
⑫ 化粧パネル端部L	アルミ押出材 陽酸化・塗装種合皮
⑪ 補強柱	アルミ押出材 陽酸化・塗装種合皮
⑩ 側面框	アルミ押出材 陽酸化・塗装種合皮
⑨ 後框	アルミ押出材 陽酸化・塗装種合皮
⑧ 前框	アルミ押出材 陽酸化・塗装種合皮
⑦ コーナー化粧パネル	アルミ押出材 陽酸化・塗装種合皮
⑥ 正面化粧パネル	アルミ押出材 陽酸化・塗装種合皮
⑤ 側面化粧パネル	アルミ押出材 陽酸化・塗装種合皮
④ 底板	アルミ押出材 陽酸化・塗装種合皮
③ 補強柱	アルミ押出材 陽酸化・塗装種合皮
② 横柱	アルミ押出材 陽酸化・塗装種合皮
① 支柱	アルミ押出材 陽酸化・塗装種合皮

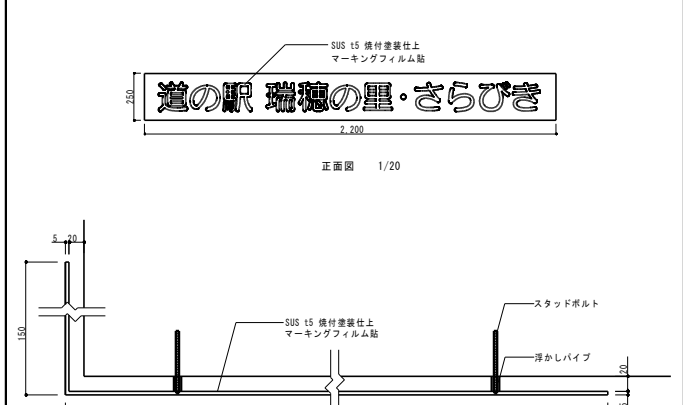
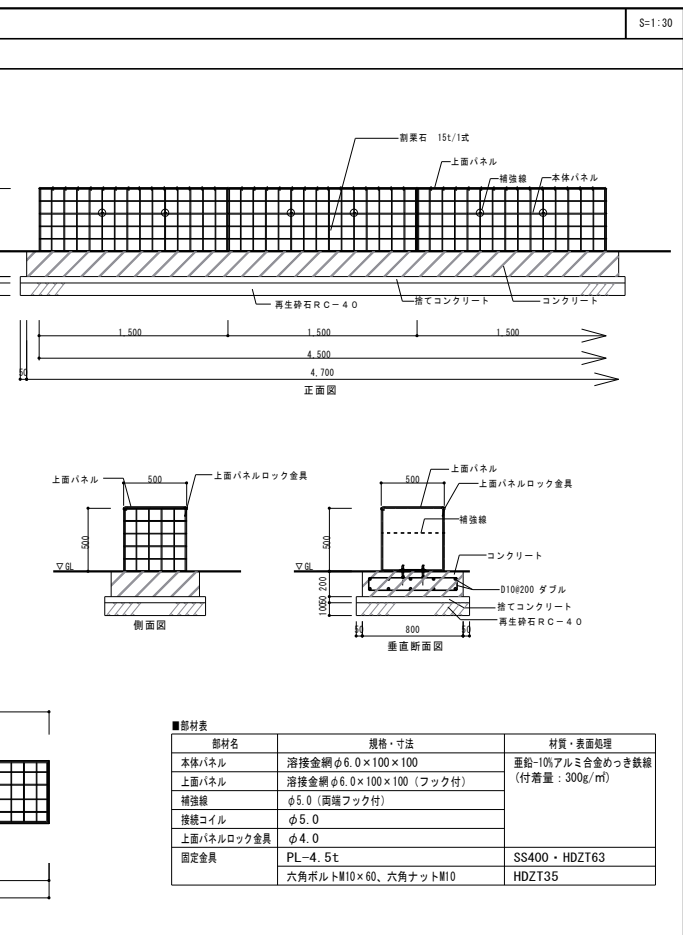
基礎コンクリートおよびコンクリート舗装のコンクリート強度は21N/mm²とする。(有筋の場合)
基礎コンクリートのコンクリート強度は18N/mm²とする。(無筋の場合)
舗装の路床設計CBRは3%以上を標準とする。



部材名	規格・寸法	材質・表面処理
本体パネル	溶接金網φ6.0×100×100	亜鉛-10%アルミ合金めっき鉄線 (付着量: 300g/m ²)
上面パネル	溶接金網φ6.0×100×100 (フック付)	
補強柱	φ5.0 (両端フック付)	
接続コイル	φ5.0	
上面パネルロック金具	φ4.0	
固定金具	PL-4.5t 六角ボルトM10×60, 六角ナットM10	SS400・HDZT63 HDZT35



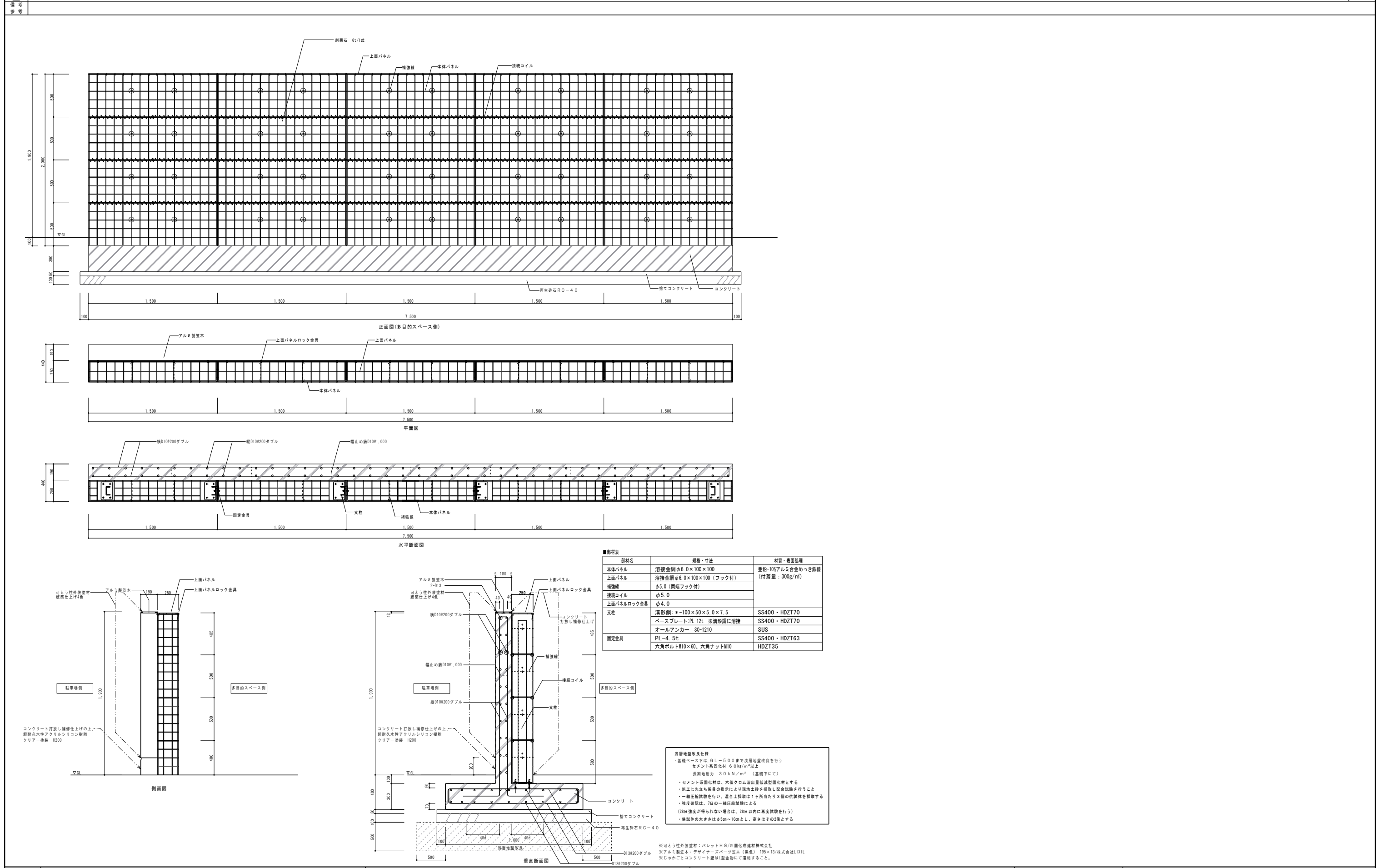
基礎コンクリートおよびコンクリート舗装のコンクリート強度は21N/mm²とする。(有筋の場合)
基礎コンクリートのコンクリート強度は18N/mm²とする。(無筋の場合)
舗装の路床設計CBRは3%以上を標準とする。



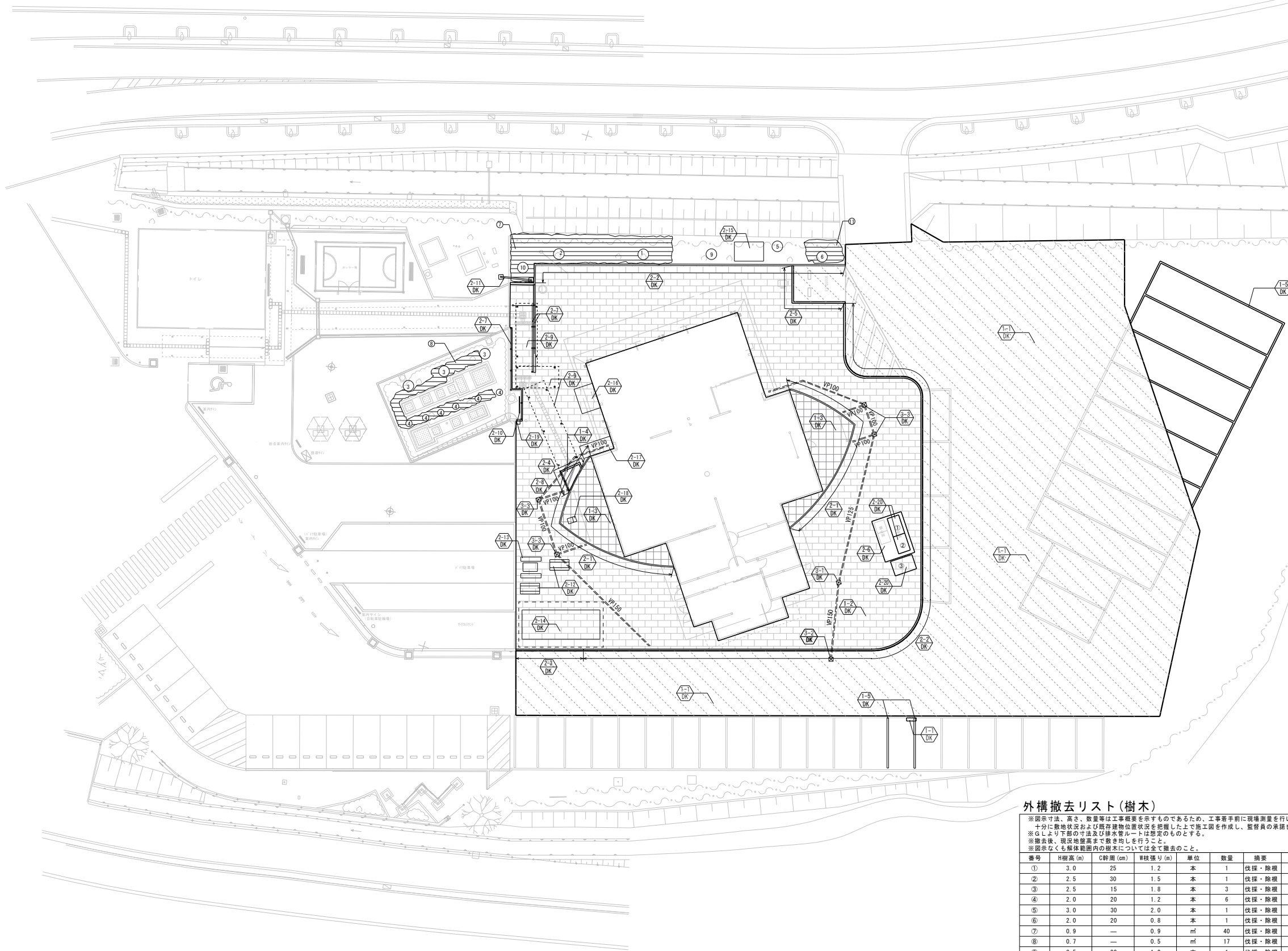
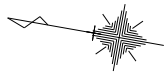
道徳の駅 瑞穂の里・さらびき

清水地盤改良仕様
・基礎ベースは、GL-5.00まで浅層地盤改良を行う
セメント系固化材 60kg/m³以上
表層地耐力 30kN/m² (基礎下にて)
・セメント系固化材は、六徳クウム産出量削減型固化材とする
・施工に先立ち地盤の調査により現地土質を採取し配合試験を行うこと
・一軸圧縮試験を行い、混合土採取は1ヶ所当たり3個の試験体採取とする
・強度確認は、7日の一軸圧縮試験による
(28日強度が得られない場合は、28日以内に再度試験を行う)
・試験体の大きさはφ50×100mmとし、高さはその2倍とする

工事名称 道の駅「瑞穂の里・さらびき」再整備工事
図面名称 外構詳細図(7)
S: 図示
キタイ設計(株)
一級建築士 第319755号 小川龍二
G-13



基礎コンクリートおよびコンクリート舗装のコンクリート強度は21N/mm ² とする。(有筋の場合)	工事名称	道の駅「瑞穂の里・さらびき」再整備工事
基礎コンクリートのコンクリート強度は18N/mm ² とする。(無筋の場合)	図面名称	外構詳細図(8) S: 図示
舗装の路床設計CBRは3%以上を標準とする。		



外構撤去リスト(舗装)

※図示寸法、高さ、数量等は工事概要を示すものであるため、工事着手前に現場測量を行い十分に敷地状況および既存建物位置、地中埋設物状況を把握した上で施工図を作成し、監督員の承認を受けること。
 ※Gより下部の寸法及び排水管ルートは想定のもとする。
 ※撤去後、場内敷均しを行うこと。
 ※撤去後、現況地盤高まで敷き均しを行うこと。
 ※図示なくも解体範囲内の舗装については全て撤去のこと。

凡例	名称	備考
1-1 DK	アスファルト舗装	AS:t50, 砕石:t150
1-2 DK	インターロッキング舗装	インターロッキングブロック:t60 砂:t30, 砕石:t100
1-3 DK	ブロック舗装	平板ブロック:t60 砂:t30, 砕石:t100
1-4 DK	コンクリート舗装	Co:t70, 砕石:t100
1-5 DK	白線	W150 消去

外構撤去リスト(付帯)

※図示寸法、高さ、数量等は工事概要を示すものであるため、工事着手前に現場測量を行い十分に敷地状況および既存建物位置状況を把握した上で施工図を作成し、監督員の承認を受けること。
 ※Gより下部の寸法及び排水管ルートは想定のもとする。
 ※図示なくも解体範囲内の付帯物については全て撤去のこと。

凡例	名称	備考
2-1 DK	歩車道境界ブロック①	ブロック W100×H155
2-2 DK	歩車道境界ブロック②	ブロック W170×H300
2-3 DK	コンクリート擁壁	W170×H250~400
2-4 DK	地先境界ブロック(口150)	ブロック W150×H150
2-5 DK	地先境界ブロック(口120)	ブロック W120×H120
2-6 DK	室外機基礎	コンクリート製 2900×4000×G.L上H100
2-7 DK	SUS手すり	φ34 H850 支柱φ42.7H2000
2-8 DK	アルミ手すり	φ35 H800 支柱φ60H1000
2-9 DK	通路屋根	H3000 アルミ支柱
2-10 DK	サイン①	アルミ製 W1800×H2200
2-11 DK	サイン②	鋼製 W2800×H2800
2-12 DK	鋼製ベンチ・テーブル	1800×265×H370(ベンチ) 1800×685×H700(テーブル)
2-13 DK	木製ベンチ・テーブル	1900×400×H400(ベンチ) 1350×800×H700(テーブル)
2-14 DK	休憩所	木製 7280×2730×H2700
2-15 DK	喫煙所	木製 2730×1820×H2700
2-16 DK	屋外店舗①	木製 1800×1800×H2500
2-17 DK	屋外店舗②	木製 3000×1200×H2200
2-18 DK	休み石	800×500×H700 一時撤去・仮置き
2-19 DK	ポスト	一時撤去・仮置き
2-20 DK	既製品倉庫	①1800×1200, ②1800×950 ③2100×1400

外構撤去リスト(樹木)

※図示寸法、高さ、数量等は工事概要を示すものであるため、工事着手前に現場測量を行い十分に敷地状況および既存建物位置状況を把握した上で施工図を作成し、監督員の承認を受けること。
 ※Gより下部の寸法及び排水管ルートは想定のもとする。
 ※撤去後、現況地盤高まで敷き均しを行うこと。
 ※図示なくも解体範囲内の樹木については全て撤去のこと。

番号	H樹高(m)	C幹周(cm)	W枝張り(m)	単位	数量	摘要	密度
①	3.0	25	1.2	本	1	伐採・除根	
②	2.5	30	1.5	本	1	伐採・除根	
③	2.5	15	1.8	本	3	伐採・除根	
④	2.0	20	1.2	本	6	伐採・除根	
⑤	3.0	30	2.0	本	1	伐採・除根	
⑥	2.0	20	0.8	本	1	伐採・除根	
⑦	0.9	—	0.9	m ²	40	伐採・除根	5本/m ² 程度
⑧	0.7	—	0.5	m ²	17	伐採・除根	8本/m ² 程度
⑨	2.5	20	1.0	本	1	伐採・除根	
⑩	2.5	15	0.6	本	1	伐採・除根	
⑪	1.0	—	1.4	m ²	6	伐採・除根	8本/m ² 程度

外構撤去リスト(排水)

※図示寸法、高さ、数量等は工事概要を示すものであるため、工事着手前に現場測量を行い十分に敷地状況および既存建物位置状況を把握した上で施工図を作成し、監督員の承認を受けること。
 ※Gより下部の寸法及び排水管ルートは想定のもとする。
 ※撤去後、現況地盤高まで敷き均しを行うこと。

凡例	名称	備考
3-1 DK	現場打雨水溝(口500)	コンクリート蓋(600角) H330
3-2 DK	現場打雨水溝(口500)	グレーチング蓋(600角) H800
3-3 DK	既製品雨水溝(口360)	コンクリート蓋(500角) H600

工事名称 道の駅「瑞穂の里・さらびき」再整備工事

図面名称 全体外構撤去配置図

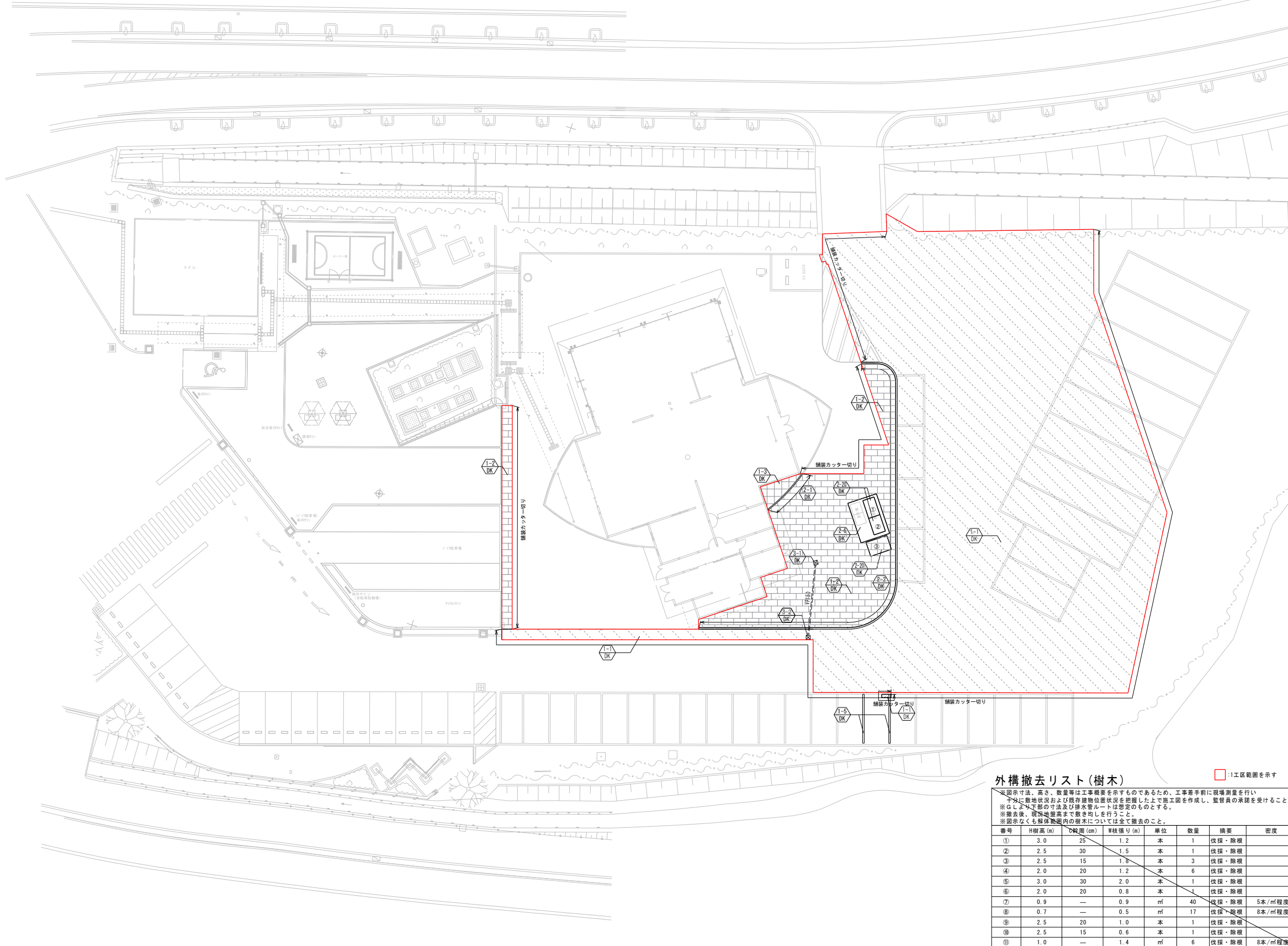
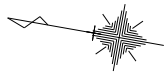
S=1:200
(A3用 5=1:400)



キタイ設計(株)

一級建築士 第319755号 小川龍二

KG-01



外構撤去リスト(舗装)

※図示寸法、高さ、数量等は工事概要を示すものであるため、工事着手前に現場測量を行い十分に敷地状況および既存建物位置、地中埋設物状況を把握した上で施工図を作成し、監督員の承認を受けること。
 ※Gより下部の寸法及び排水管ルートは想定のもとする。
 ※撤去後、場内敷均しを行うこと。
 ※撤去後、現況地盤高まで敷き均しを行うこと。
 ※図示なくも解体範囲内の舗装については全て撤去のこと。

凡例	名称	備考
1-1 DK	アスファルト舗装	AS:t50, 砕石:t150
1-2 DK	インターロッキング舗装	インターロッキングブロック:t60 砂:t30, 砕石:t100
1-3 DK	ブロック舗装	平板ブロック:t60 砂:t30, 砕石:t100
1-4 DK	コンクリート舗装	Co:t70, 砕石:t100
1-5 DK	白線	W150 消去

外構撤去リスト(付帯)

※図示寸法、高さ、数量等は工事概要を示すものであるため、工事着手前に現場測量を行い十分に敷地状況および既存建物位置状況を把握した上で施工図を作成し、監督員の承認を受けること。
 ※Gより下部の寸法及び排水管ルートは想定のもとする。
 ※図示なくも解体範囲内の付帯物については全て撤去のこと。

凡例	名称	備考
2-1 DK	歩車道境界ブロック①	ブロック W100×H155
2-2 DK	歩車道境界ブロック②	ブロック W170×H300
2-3 DK	コンクリート擁壁	W170×H250~400
2-4 DK	地先境界ブロック(白H40)	ブロック W150×H150
2-5 DK	地先境界ブロック(白H20)	ブロック W120×H120
2-6 DK	室外機基礎	コンクリート製 2900×4000×地上H100
2-7 DK	SUS手すり	φ34 H850 支柱φ42-742000
2-8 DK	アルミ手すり	φ35 H800 支柱φ60#1000
2-9 DK	道路標識	H3000 アルミ支柱
2-10 DK	サイン①	アルミ製 W1800×H2200
2-11 DK	サイン②	鋼製 W2800×H2800
2-12 DK	鋼製ベンチ・テーブル	1800×265×H370(ベンチ) 1800×665×H700(テーブル)
2-13 DK	木製ベンチ・テーブル	1900×400×H400(ベンチ) 1350×800×H700(テーブル)
2-14 DK	休憩所	木製 7280×2730×H2700
2-15 DK	喫煙所	木製 2730×1820×H2700
2-16 DK	屋外店舗①	木製 1800×1800×H2500
2-17 DK	屋外店舗②	木製 3000×1200×H2200
2-18 DK	休み石	800×500×H700 一時撤去→仮置き
2-19 DK	ポスト	一時撤去→仮置き
2-20 DK	既製品倉庫	①1800×1200, ②1800×950 ③2100×1400

外構撤去リスト(樹木)

※図示寸法、高さ、数量等は工事概要を示すものであるため、工事着手前に現場測量を行い十分に敷地状況および既存建物位置状況を把握した上で施工図を作成し、監督員の承認を受けること。
 ※Gより下部の寸法及び排水管ルートは想定のもとする。
 ※撤去後、敷地盤高まで敷き均しを行うこと。
 ※図示なくも解体範囲内の樹木については全て撤去のこと。

番号	H樹高(m)	D幹径(cm)	W枝張り(m)	単位	数量	摘葉	密度
①	3.0	25	1.2	本	1	伐採・除根	
②	2.5	30	1.5	本	1	伐採・除根	
③	2.5	15	1.8	本	3	伐採・除根	
④	2.0	20	1.2	本	6	伐採・除根	
⑤	3.0	30	2.0	本	1	伐採・除根	
⑥	2.0	20	0.8	本	伐採・除根		
⑦	0.9	—	0.9	m	40	伐採	5本/m程度
⑧	0.7	—	0.5	m	17	伐採	8本/m程度
⑨	2.5	20	1.0	本	1	伐採・除根	
⑩	2.5	15	0.6	本	1	伐採・除根	
⑪	1.0	—	1.4	m	6	伐採・除根	8本/m程度

外構撤去リスト(排水)

※図示寸法、高さ、数量等は工事概要を示すものであるため、工事着手前に現場測量を行い十分に敷地状況および既存建物位置状況を把握した上で施工図を作成し、監督員の承認を受けること。
 ※Gより下部の寸法及び排水管ルートは想定のもとする。
 ※撤去後、現況地盤高まで敷き均しを行うこと。

凡例	名称	備考
3-1 DK	現場打雨水溝(口500)	コンクリート蓋(600角) H330
3-2 DK	現場打雨水溝(口500)	グレーチング蓋(600角) H800
3-3 DK	既設高雨水溝(口360)	コンクリート蓋(500角) H800

工事名称 道の駅「瑞穂の里・さらびき」再整備工事

図面名称 1期工事外構撤去配置図

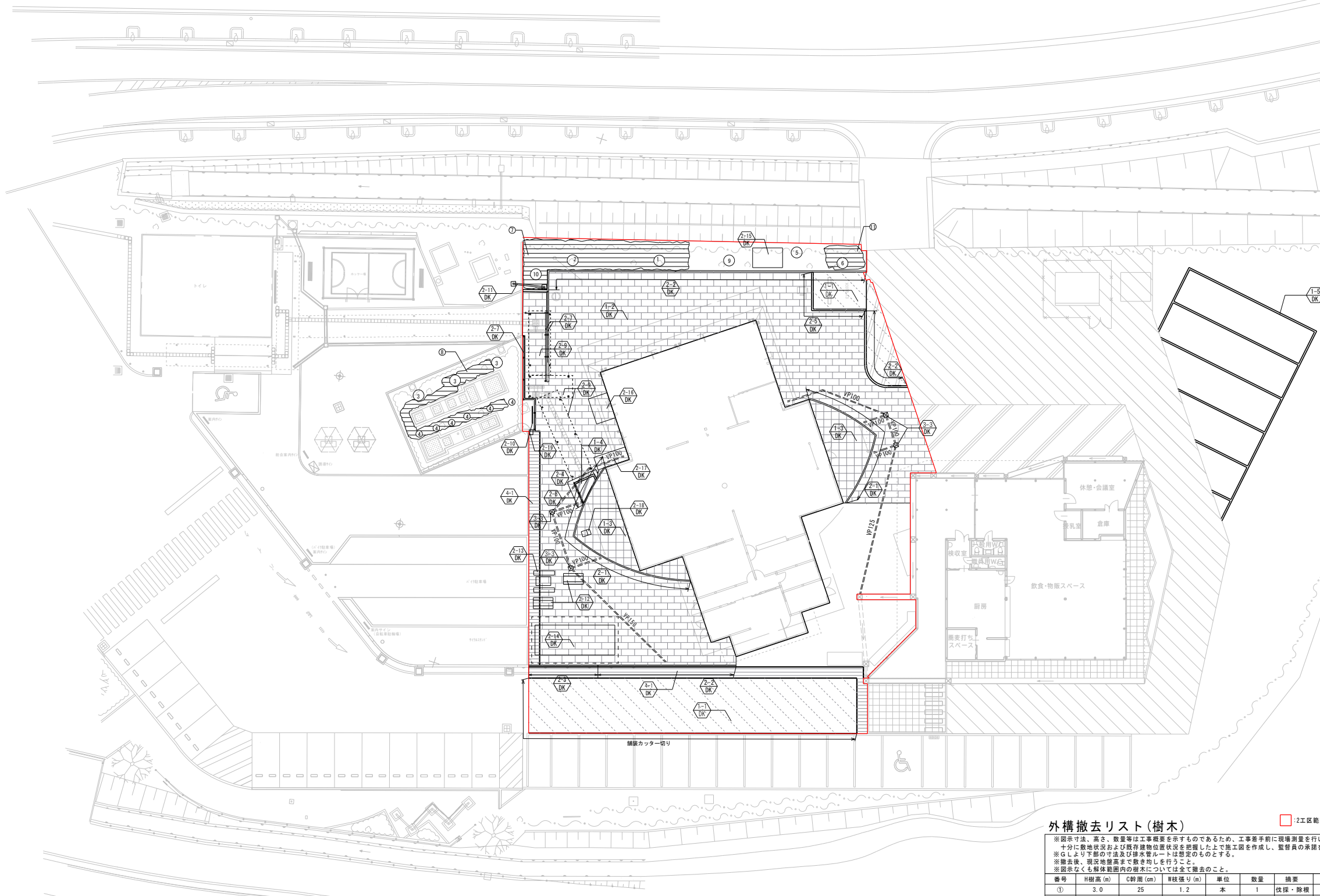
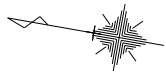
S=1:200
(A3用 S=1:400)



キタイ設計(株)

一級建築士 第319755号 小川龍二

KG-02



外構撤去リスト(舗装)

※図示寸法、高さ、数量等は工事概要を示すものであるため、工事着手前に現場測量を行い十分に敷地状況および既存建物位置、地中埋設物状況を把握した上で施工図を作成し、監督員の承認を受けること。
 ※Gより下部の寸法及び排水管ルートは想定のもとする。
 ※撤去後、場内敷均しを行うこと。
 ※撤去後、現況地盤高まで敷き均しを行うこと。
 ※図示なくも解体範囲内の舗装については全て撤去のこと。

凡例	名称	備考
1-1 DK	アスファルト舗装	AS:t50, 砕石:t150
1-2 DK	インターロッキング舗装	インターロッキングブロック:t60 砂:t30, 砕石:t100
1-3 DK	ブロック舗装	平板ブロック:t60 砂:t30, 砕石:t100
1-4 DK	コンクリート舗装	Co:t70, 砕石:t100
1-5 DK	白線	W150 消去

外構撤去リスト(付帯)

※図示寸法、高さ、数量等は工事概要を示すものであるため、工事着手前に現場測量を行い十分に敷地状況および既存建物位置状況を把握した上で施工図を作成し、監督員の承認を受けること。
 ※Gより下部の寸法及び排水管ルートは想定のもとする。
 ※図示なくも解体範囲内の付帯物については全て撤去のこと。

凡例	名称	備考
2-1 DK	歩車道境界ブロック①	ブロック W100×H155
2-2 DK	歩車道境界ブロック②	ブロック W170×H300
2-3 DK	コンクリート擁壁	W170×H250~400
2-4 DK	地先境界ブロック(口150)	ブロック W150×H150
2-5 DK	地先境界ブロック(口120)	ブロック W120×H120
2-6 DK	室外機基礎	コンクリート製 2905×4000×厚上H100
2-7 DK	SUS手すり	φ34 H850 支柱φ42.7H2000
2-8 DK	アルミ手すり	φ35 H800 支柱φ60H1000
2-9 DK	通路屋根	H3000 アルミ支柱
2-10 DK	サイン①	アルミ製 W1800×H2200
2-11 DK	サイン②	鋼製 W2800×H2800
2-12 DK	鋼製ベンチ・テーブル	1800×265×H370(ベンチ) 1800×685×H700(テーブル)
2-13 DK	木製ベンチ・テーブル	1900×400×H400(ベンチ) 1350×800×H700(テーブル)
2-14 DK	休憩所	木製 7280×2730×H2700
2-15 DK	喫煙所	木製 2730×1820×H2700
2-16 DK	屋外店舗①	木製 1800×1800×H2500
2-17 DK	屋外店舗②	木製 3000×1200×H2200
2-18 DK	休み石	800×500×H700 一時撤去・仮置き
2-19 DK	ポスト	一時撤去・仮置き
2-20 DK	既製品倉庫	①1800×1200, ②1800×950 ③2100×1400

外構撤去リスト(樹木)

※図示寸法、高さ、数量等は工事概要を示すものであるため、工事着手前に現場測量を行い十分に敷地状況および既存建物位置状況を把握した上で施工図を作成し、監督員の承認を受けること。
 ※Gより下部の寸法及び排水管ルートは想定のもとする。
 ※撤去後、現況地盤高まで敷き均しを行うこと。
 ※図示なくも解体範囲内の樹木については全て撤去のこと。

番号	H樹高(m)	C幹周(cm)	W枝張り(m)	単位	数量	摘葉	密度
①	3.0	25	1.2	本	1	伐採・除根	
②	2.5	30	1.5	本	1	伐採・除根	
③	2.5	15	1.8	本	3	伐採・除根	
④	2.0	20	1.2	本	6	伐採・除根	
⑤	3.0	30	2.0	本	1	伐採・除根	
⑥	2.0	20	0.8	本	1	伐採・除根	
⑦	0.9	—	0.9	m ²	40	伐採	5本/m ² 程度
⑧	0.7	—	0.5	m ²	17	伐採	8本/m ² 程度
⑨	2.5	20	1.0	本	1	伐採・除根	
⑩	2.5	15	0.6	本	1	伐採・除根	
⑪	1.0	—	1.4	m ²	6	伐採	8本/m ² 程度

外構撤去リスト(仮舗装)

※図示寸法、高さ、数量等は工事概要を示すものであるため、工事着手前に現場測量を行い十分に敷地状況および既存建物位置状況を把握した上で施工図を作成し、監督員の承認を受けること。
 ※撤去後、現況地盤高まで敷き均しを行うこと。

凡例	名称	備考
4-1 DK	砂利敷き舗装	砂利敷きt200

工事名称 道の駅「瑞穂の里・さらびき」再整備工事

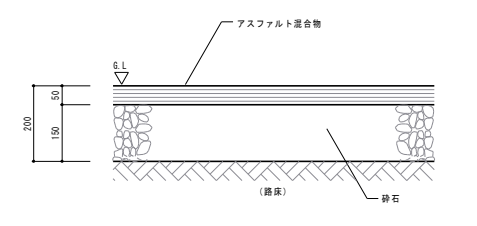
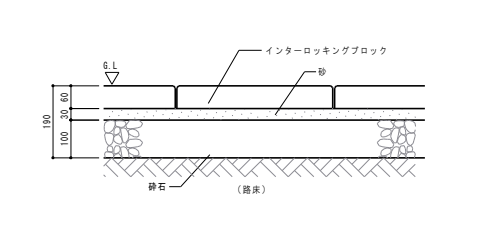
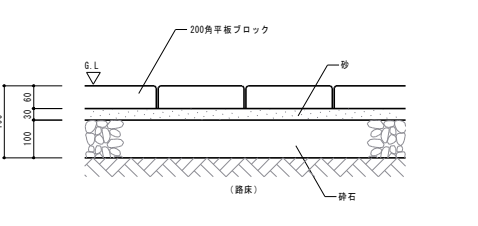
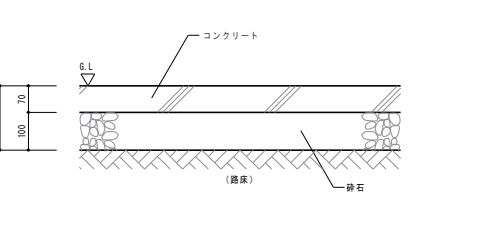
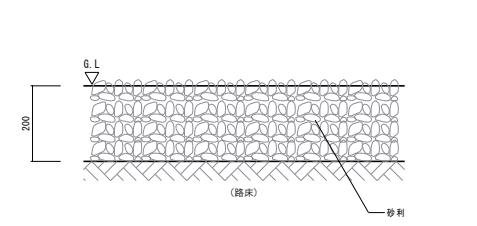
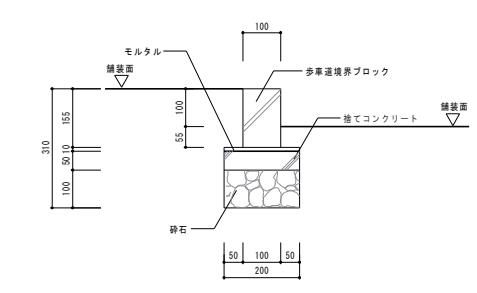
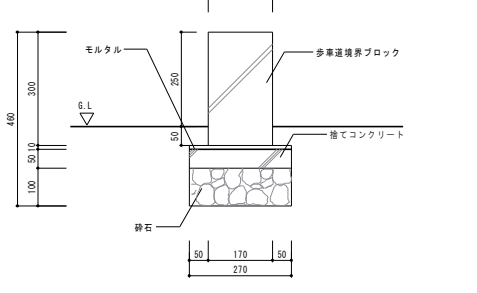
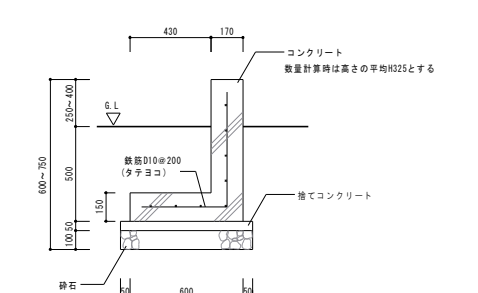
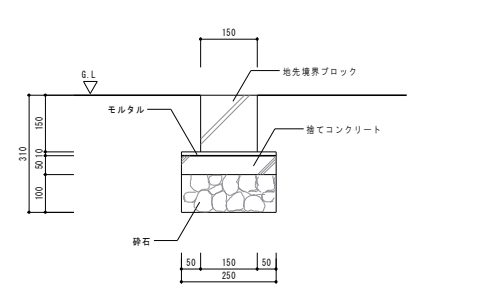
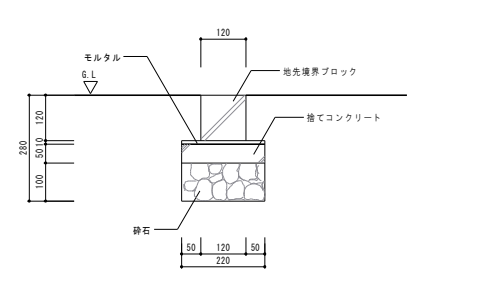
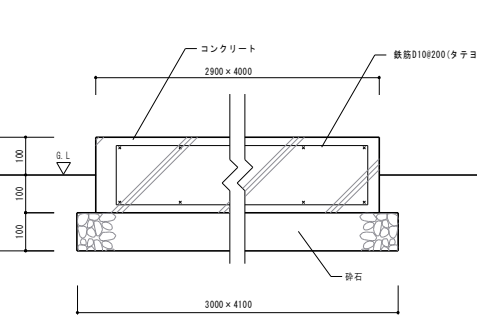
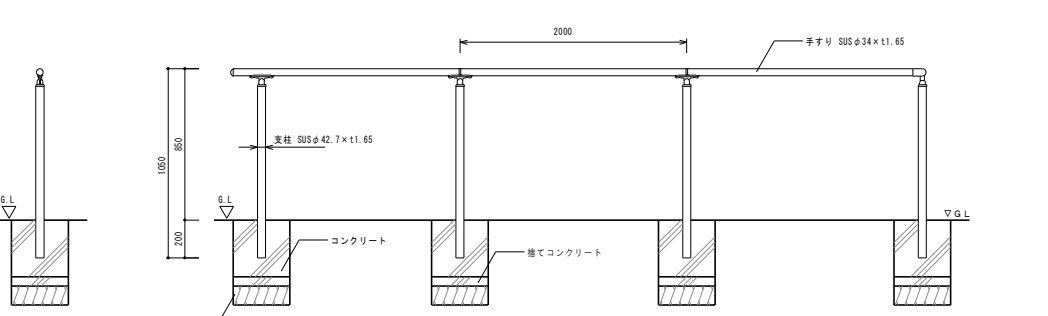
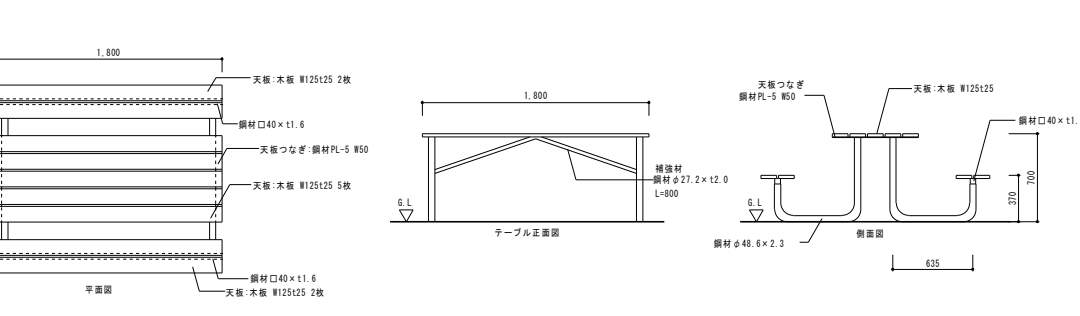
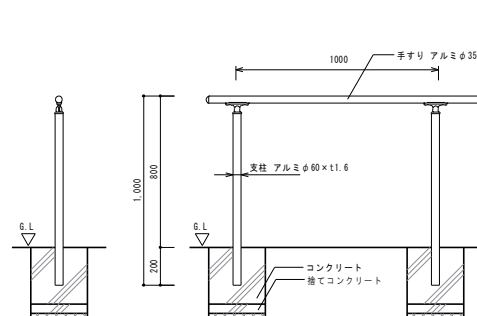
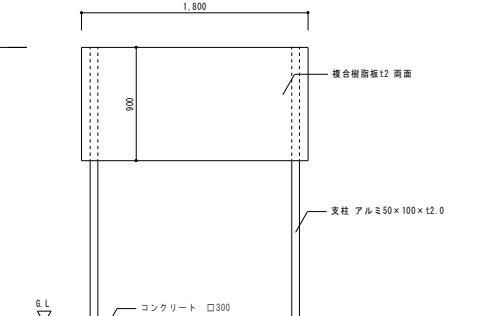
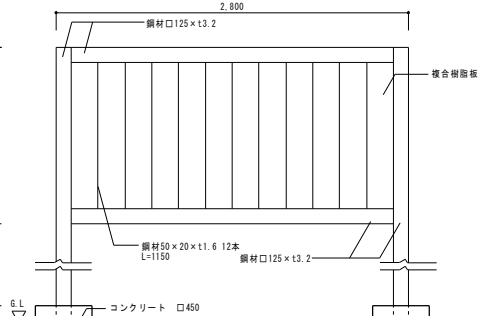
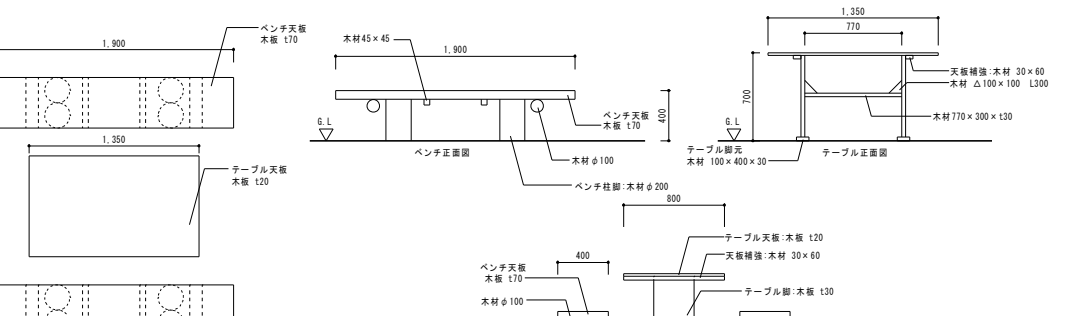
図面名称 2期工事外構撤去配置図

S=1:200 (A3紙 S=1:400)

キタイ設計(株)

一級建築士 第319755号 小川龍二

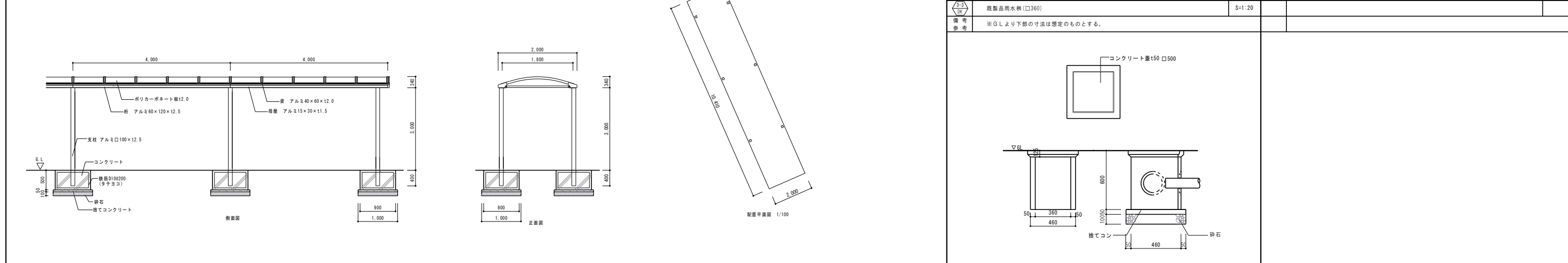
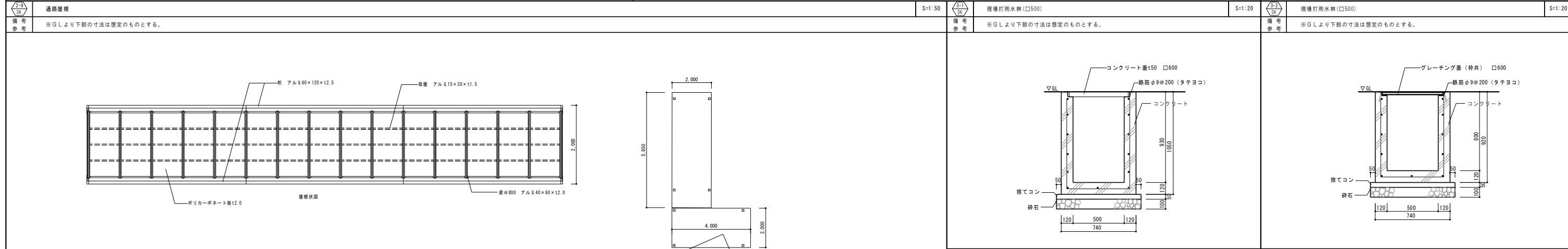
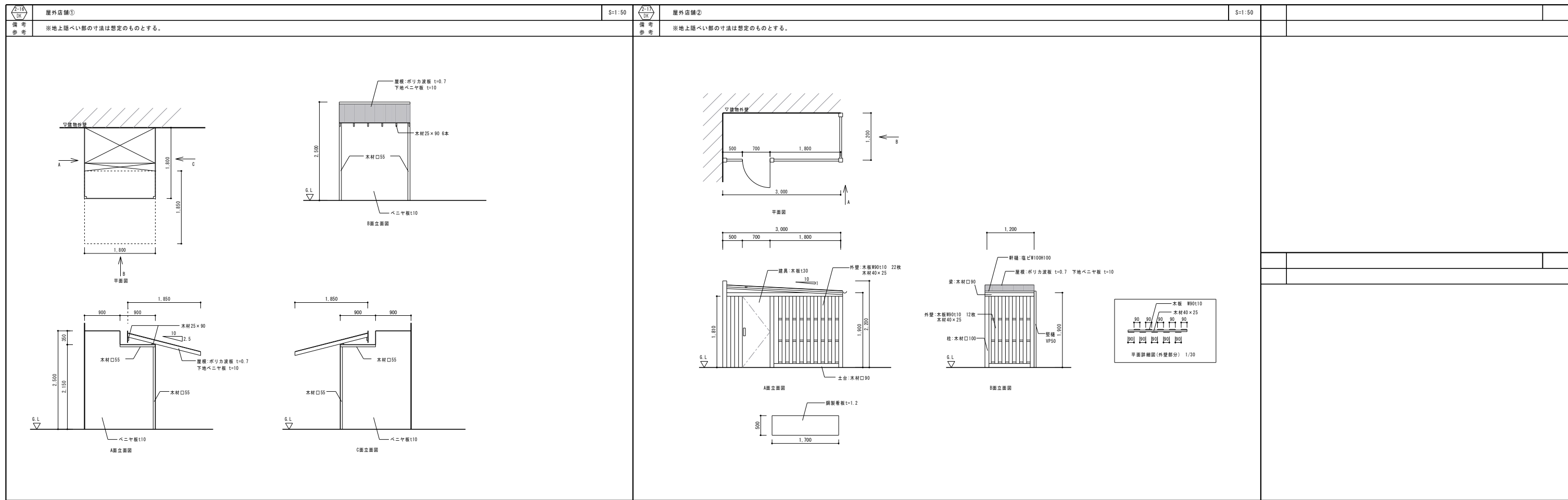
KG-03

<p>1-1 DK</p> <p>アスファルト舗装</p> <p>S=1:10</p> <p>備考 ※G.Lより下部の寸法は想定のものとする。</p> 	<p>1-2 DK</p> <p>インターロッキング舗装</p> <p>S=1:10</p> <p>備考 ※G.Lより下部の寸法は想定のものとする。</p> 	<p>1-3 DK</p> <p>ブロック舗装</p> <p>S=1:10</p> <p>備考 ※G.Lより下部の寸法は想定のものとする。</p> 	<p>1-4 DK</p> <p>コンクリート舗装</p> <p>S=1:20</p> <p>備考 ※G.Lより下部の寸法は想定のものとする。</p> 	<p>1-5 DK</p> <p>砂利敷き舗装</p> <p>S=1:20</p> <p>備考 ※G.Lより下部の寸法は想定のものとする。</p> 
<p>2-1 DK</p> <p>歩道境界ブロック①</p> <p>S=1:10</p> <p>備考 ※G.Lより下部の寸法は想定のものとする。</p> 	<p>2-2 DK</p> <p>歩道境界ブロック②</p> <p>S=1:10</p> <p>備考 ※G.Lより下部の寸法は想定のものとする。</p> 	<p>2-3 DK</p> <p>コンクリート擁壁</p> <p>S=1:20</p> <p>備考 ※G.Lより下部の寸法は想定のものとする。</p> <p>数量計算時は高さの平均H325とする</p> 	<p>2-4 DK</p> <p>地先境界ブロック (口150)</p> <p>S=1:10</p> <p>備考 ※G.Lより下部の寸法は想定のものとする。</p> 	<p>2-5 DK</p> <p>地先境界ブロック (口120)</p> <p>S=1:10</p> <p>備考 ※G.Lより下部の寸法は想定のものとする。</p> 
<p>2-6 DK</p> <p>室外機基礎</p> <p>S=1:10</p> <p>備考 ※G.Lより下部の寸法は想定のものとする。</p> <p>基礎：2900×4000</p> 	<p>2-7 DK</p> <p>SUS手すり</p> <p>S=1:20</p> <p>備考 ※G.Lより下部の寸法は想定のものとする。</p> 	<p>2-8 DK</p> <p>鋼製ベンチ・テーブル</p> <p>S=1:30</p> <p>備考 ※G.Lより下部の寸法は想定のものとする。</p> 		
<p>2-9 DK</p> <p>アルミ手すり</p> <p>S=1:20</p> <p>備考 ※G.Lより下部の寸法は想定のものとする。</p> 	<p>2-10 DK</p> <p>サイン①</p> <p>S=1:30</p> <p>備考 ※G.Lより下部の寸法は想定のものとする。</p> 	<p>2-11 DK</p> <p>サイン②</p> <p>S=1:30</p> <p>備考 ※G.Lより下部の寸法は想定のものとする。</p> 	<p>2-12 DK</p> <p>木製ベンチ・テーブル</p> <p>S=1:30</p> <p>備考 ※G.Lより下部の寸法は想定のものとする。</p> 	
				<p>工事名称</p> <p>道の駅「瑞穂の里・さらびき」再整備工事</p> <p>図面名称</p> <p>外構撤去詳細図(1)</p> <p>S=図示</p> <p>キタイ設計(株)</p> <p>一級建築士 第319755号 小川龍二</p> <p>KG-04</p>

<p>休み石 S=1:20</p> <p>※G.Lより下部の寸法は想定のものとする。</p>	<p>ポスト S=1:20</p> <p>※G.Lより下部の寸法は想定のものとする。</p> <p>※一時撤去・仮置き (基礎解体後、埋入れ部分も含めて仮置きを行うこと)</p>	<p>S=1:30</p>
---	--	---------------

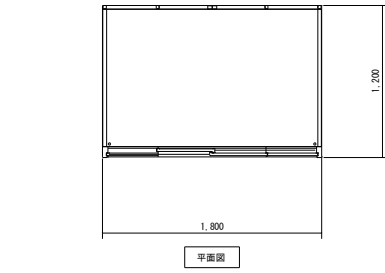
<p>休憩所 S=1:50</p> <p>※G.Lより下部及び地上階べい部の寸法は想定のものとする。</p>	<p>喫煙所 S=1:50</p> <p>※G.Lより下部及び地上階べい部の寸法は想定のものとする。</p>
---	---

<p>基礎コンクリートおよびコンクリート舗装のコンクリート強度は21N/mm²とする。(有筋の場合)</p> <p>基礎コンクリートおよび捨てコンクリートのコンクリート強度は18N/mm²とする。(無筋の場合)</p>	<p>工事名称 道の駅「瑞穂の里・さらびき」再整備工事</p> <p>図面名称 外構撤去詳細図(2)</p>	<p>S=図示</p> <p>キタイ設計(株)</p> <p>一級建築士 第319755号 小川龍二</p> <p>KG-05</p>
---	--	---



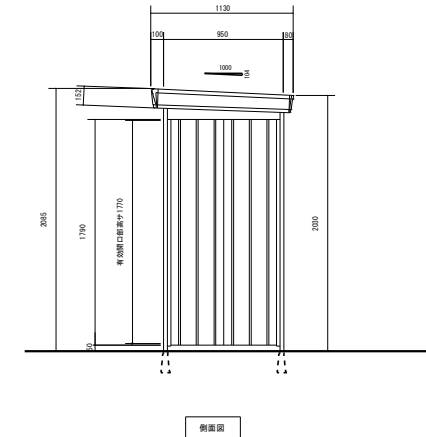
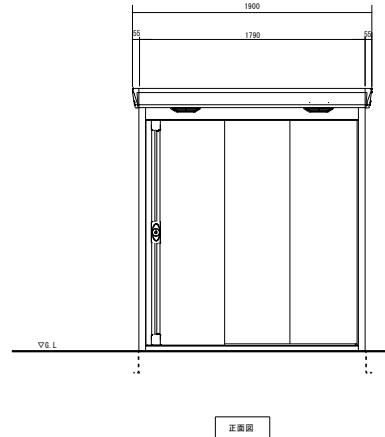
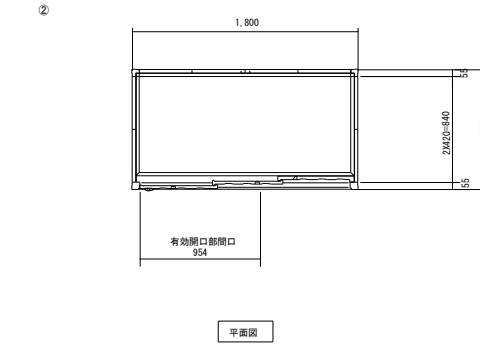
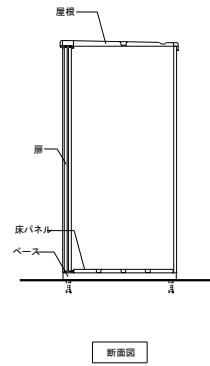
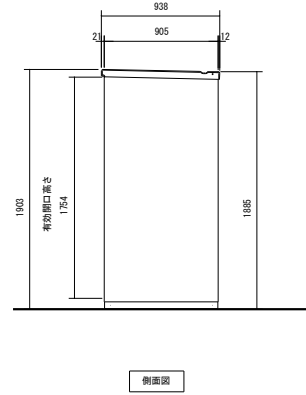
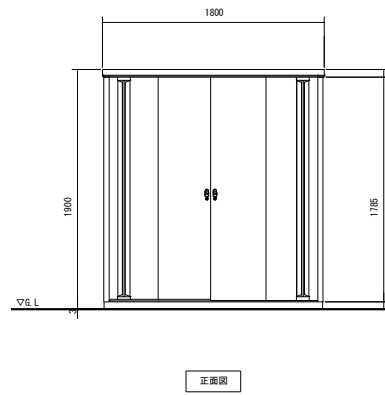
	<p>工事名称 道の駅「瑞穂の里・さらびき」再整備工事</p>	
	<p>図面名称 外構撤去詳細図(3)</p>	<p>S=図示</p>
	<p>キタイ設計(株)</p>	<p>一級建築士 第319755号 小川龍二</p>
		<p>KG-06</p>

※以下部及び地上階への寸法は想定のものとする。



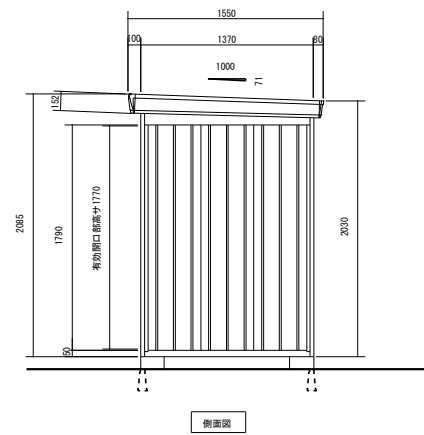
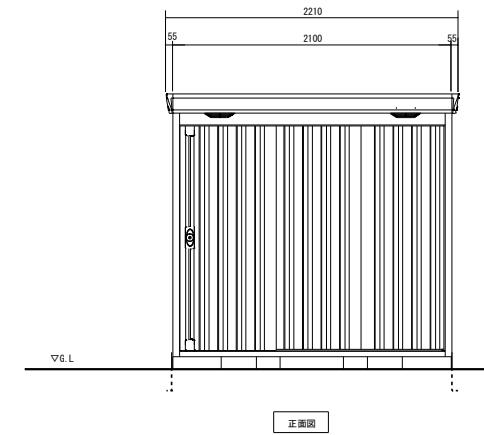
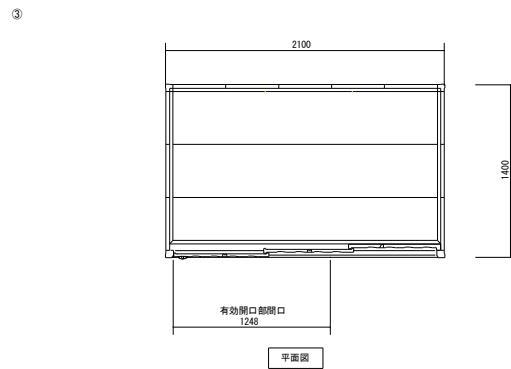
品番	部品名	材料(材質)	単位mm
1	ベース	F12	1.2+1.0
2	ベース下枠	F12	1.2+1.0
3	側板	F12	0.6
4	壁パネル	F12	0.5
5	層板	F12	0.6
6	扉	F12	0.6
7	扉パネル	F12	1.0

F12: 溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)
参考重量: 109.6kg



品番	部品名	材料(材質)	板厚(mm)
1	土台取付板	SGM400 K27	2.3
2	土台	SGC400 F12	1.2
3	横太	SGC F12	1.2
4	柱	SGC400 F12	1.2
5	扉パネル	SGC F12	1.0
6	軌跡	SZAC400 Y10	1.0
7	桁後	SZAC400 Y10	1.0
8	裏板左右	SZAC400 Y10	0.7
9	鼻隠シ前後	SZACC Y10	0.7
10	層板パネル	SZAC400 Y10	0.5
11	壁パネル	SGC400 F12	0.6
12	正面パネル	SGC400 F12	0.7
13	扉	SGC F12	0.8
14	アンカープレート	SGHC F12	2.3

SGM400: 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (JIS G 3323)
SGC400, SGC, SGHC: 溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)
SZAC400, SZACC: 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)
SGC: 電気亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3313)
参考重量: 173kg



品番	部品名	材料(材質)	板厚(mm)
1	土台取付板	SGM400 K27	2.3
2	土台	SGC400 F12	1.2
3	横太	SGC F12	1.2
4	柱	SGC400 F12	1.2
5	扉パネル	SGC F12	1.0
6	軌跡	SZAC400 Y10	1.0
7	桁後	SZAC400 Y10	1.0
8	裏板左右	SZAC400 Y10	0.7
9	鼻隠シ前後	SZACC Y10	0.7
10	層板パネル	SZAC400 Y10	0.5
11	母屋中(2210mm)	一般型	1.0
12	壁パネル	SGC400 F12	0.6
13	正面パネル	SGC400 F12	0.7
14	扉	SGC F12	0.8
15	アンカープレート	SGHC F12	2.3

SGM400: 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (JIS G 3323)
SGC400, SGC, SGHC: 溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)
SZAC400, SZACC: 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)
SGC: 電気亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3313)
参考重量: 234kg

